

令和6年度使用済製品等のリユースに関する自治体モデル実証事業



- リユース関連事業者や市民団体等と連携した先進的なリユース施策を実施しようとする地方公共団体を支援することを目的として、地域の実情に応じた創意工夫による使用済製品等の適正なリユースの推進に資する取組を広く募集し、実施に係る費用の支援及び技術的支援を行った。審査の結果、以下2件の事業を採択し、支援を行った。

地方公共団体名		事業名、実施概要
1	東京都八王子市	リユース品の訪問回収プロジェクト ～地域のデジタルプラットフォームとの連携～ 市施設にて不要となった再利用可能な品物をごみとして出す前に市民から受け取り、オンラインプラットフォームをはじめとした民間企業のノウハウを活用して、引取りを希望する方へ有償または無償で引渡す取組。本年度はこれまでの取組に加え、様々な事情で品物を持ち込むことが難しい市民の為に戸別回収を新たに実施し、利便性の向上、リユース品の増加やごみ減量を図るとともに、営業日数の増加に向けた検討を行う。
2	福島県郡山市	リユーススポット実証事業 粗大ごみとして出品される家具類、スポーツ用品、子ども用品を対象と想定し、「不要だがまだ使える」ものをリユーススポットで収集し、オンラインプラットフォームを通じて必要とする市民に周知・受け渡す取組。次年度以降の事業内容を検討するための実証実験として、リユース品の目利き方法のマニュアル化や、リユースできないものへの対応の検証、運搬の検証等を行う。

リユース品の訪問回収プロジェクト

～地域のデジタルプラットフォームとの連携～（八王子市）



- 株式会社ジモティーと連携し、市施設にてまだ使える不要品を市民から無料で引き取り、オンラインプラットフォーム「ジモティー」に掲載し、必要とされる方に現地で販売・譲渡する事業。令和6年度は新たに戸別回収を実施し、さらなる利便性向上やリユースの推進を図った。
- ジモテースポットについては次年度も継続実施。戸別回収についてはモデル事業での回収品の内容や回収の効率性、コストを検証し、スポット的な実施を検討する。

事業の全体像

- ①市民が不要品の持ち込みまたは戸別回収予約をWebで行い、(株)ジモティーが再利用可能と判断した物について、引き取りを行う。
- ②引き取った品物を (株)ジモティーがオンラインプラットフォームを活用して値段を付けて出品し（一部無料）、引き取り手を探す。
- ③購入を希望する方は、オンラインプラットフォームから出品物を確認し、ジモテースポット八王子で有償又は無償にて品物を引き取る。

取組の様子



ジモテースポット八王子の様子



戸別回収の様子

取組の成果

【ジモテースポット実績（令和6年6月～12月の出品について）】

- ・総出品数：13,475品
- ・引渡し数：11,943品
- ・リユース率：88.6%（品目ベース）
- ・リユース量：56t

【戸別回収実績（令和6年9月～12月）】

- ・回収件数：115件
- ・回収品数：1,678品

【取り扱った主な品目】

家具、食器、電化製品、趣味、乳児用具・子ども遊具

【アンケート調査結果】

戸別回収は利用しやすいという回答が8割。

戸別回収の継続を望む声が多くあった。

スポットへの持ち込み利用者はリピーターが4割。



リユース品の訪問回収プロジェクト ～地域のデジタルプラットフォームとの連携～（八王子市）



事業概要、実施体制、効果検証と事業成果、課題と展望

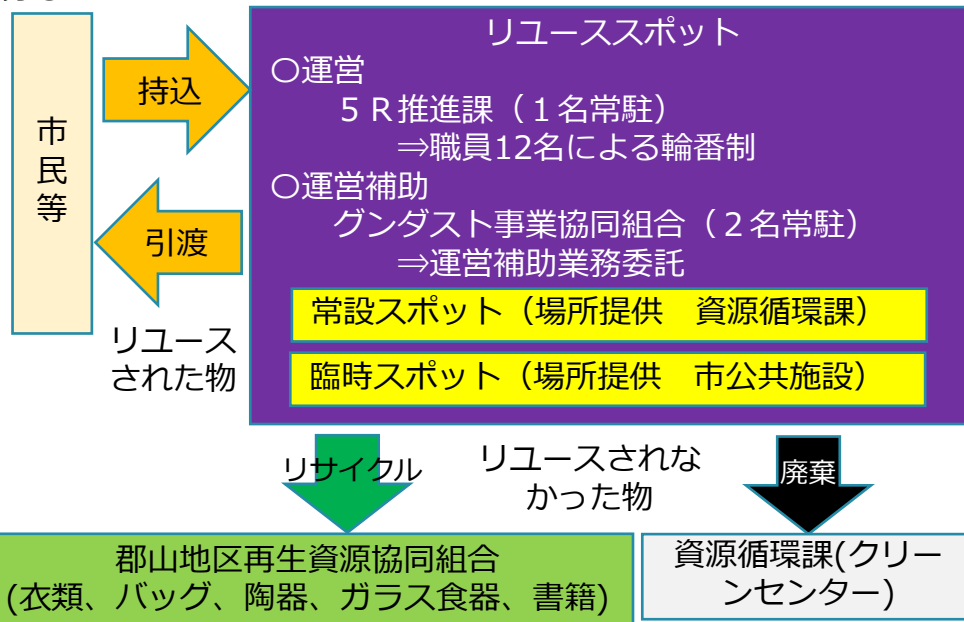
事業概要	＜訪問回収＞ ※新規事業として、モデル事業で実施。 ・実施期間：訪問回収の実施／令和6年9月27日～12月6日 隔週金曜日に計6回実施 ・対象地域：ジモティースポット八王子より半径約4km、約173,000世帯が対象。 ・搬出方法：玄関先での対面引き取り後、軽トラ・2トン車の2台でスポットまで運搬（申込に併せて配車を調整）。 ＜ジモティースポットの運営＞ ・実施期間：令和6年4月1日～ ・営業日時：金・土・日曜 10:00～16:30 ・実施場所：北野環境学習センター「あったかホール」1階（市の環境学習室や体育館等を併設した施設） （売り場面積 約100m²、倉庫面積 約40m²） ・取扱品目：家具（3辺合計180cm以内）、食器、電化製品、趣味、乳児用具・子ども遊具 等（※出品数の多い順） ・引渡価格：有償又は無償
効果検証と事業成果	＜訪問回収＞ ・申込件数：597件、回収件数：115件*¹、回収品数：1,678品（うち、544品を出品*² ※令和6年12月末時点） ・*1 回収車両の関係上、1回20件程度が対応上限。日時・回収ルートとの兼ね合いで、最終的に115件の対応となった。 ・*2 売り場スペースが不足しており、出品できずに保管されたままの回収品が現時点では多い。 ・アンケート（n=42）より、50代以上の利用が約7割を占め、「自家用車を持たない」「高齢で搬出が難しい」などの理由から、訪問回収の継続を求める声が多かった。（申込件数からも、市の当初想定以上の要望があると評価。） ＜ジモティースポットの運営＞ ※令和6年6月～12月の出品について ・出品数：13,475品（約63トン）、引渡数：11,943品（約56トン）、リユース率：88.6%（89.3%_重量ベース） ・ごみ減量効果の観点では、家具が2,463品（約18トン）、電化製品が1,759品（約11トン）と多かった。
事業の評価・課題	・市としての評価：令和7年度も継続実施を予定。 ✓ リユースショップで取扱いが難しい品目について、3か年で約144トンのリユース・ごみ減量に貢献。 - リユース率も90%を超え、継続実施によってリピーターも増加している（持ち込み者の36.2%がリピーター）。 ✓ スポット利用を通じた市民の環境意識の向上のほか、スポット設置施設の利用と相乗効果も生まれている。 ・今後の課題など ✓ 訪問回収：運搬費の高騰に対応するため、購入需要が高い品目を効率的に回収する方法の検討が必要。 ✓ スポット運営：売り場スペースが不足し、品物の滞留が発生。運営日の増加とスペースの確保について検討が必要。

リユーススポット実証事業（福島県郡山市）

- 郡山市が市の直営事業として、市民が自宅にある「不要だけどまだ使える物」を持ち込み、欲しい方に譲り渡す拠点（リユーススポット）を開設・運営。
- 市域が広いという特徴を踏まえ、常設リユーススポット（1か所）と、1日限定開催の臨時リユーススポット（計6か所）を開設。より多くの市民の参加を可能にした。
- 今後、市民のリユース意識を醸成しながら、県内他自治体への情報提供により横展開予定。

事業の全体像

市民が持ち込んだリユース品をリユーススポットで展示（大型家具はHPでも紹介）。欲しい人へ引き渡す。持込も引渡も全て無料。
3週間程度展示してもリユースされないものは、リサイクル又は処分した。



取組の様子



持ち込まれたリユース品の
展示状況



引渡時の計量の状況

取組の成果

○実証実績（開設期間：令和6年10月3日～12月13日）

持ち込まれた量	20.6 トン	49,369点
引渡された量	15.0 トン (72.7%)	32,805点 (66.4%)
リサイクルされた量	5.1 トン (24.7%)	15,078点 (30.5%)
廃棄された量	0.5 トン (2.6%)	1,486点 (3.0%)

○アンケート結果

- 事業継続を望む回答： 96.6%

事業概要、実施体制、効果検証と事業成果、課題と展望

事業概要	<常設リユーススポットの運営> ・実施期間：令和6年10月3日～12月13日（計52日。会場設営 10月1～2日、閉鎖業務 12月16～20日） ・営業日時：月曜～金曜（祝日含む） 09:00～16:00 ・実施場所：一般廃棄物処理施設 河内クリーンセンター 管理棟玄関ホール（家具置き場 約24m²、その他置き場 約24m²） ※選定条件：駐車場の広さ、長期間借用できるスペースの有無、リユースされなかった物の廃棄が容易であること ・取扱品目：陶器・食器、衣類、書籍、日用雑貨、CD・DVD、バッグ、家具、スポーツ用品（※出品数の多い順） ※大型家具についてはジモティー郡山市公式ページに掲載し、情報を周知した。 ・引渡価格：無償 <臨時リユーススポットの運営> ・営業日時：土曜日（計6施設で、7回開催） ・実施場所：市の公共施設（市役所、公民館、体育館。部屋面積 約20m²～55m²。体育館は約75m²。） ※選定条件：駐車場の広さ、常設スポットから離れていること、来場者の出入りが容易であること ・取扱品目：常設スポットのうち、大型のものを除く ・引渡価格：無償
効果検証と事業成果	・来場者数：常設リユーススポット 2,892人、臨時リユーススポット 1,266人 ・回収数：49,369点（約20.6トン）、引渡数：32,805点（約15トン）、リユース率：66.4%（72.7%_重量ベース） ※残りのうち、再生資源協同組合にて15,078点（約5.1トン）がリサイクルされ、最終的な廃棄は1,486点（約0.5トン）。 ※ごみ減量の観点では、陶器・食器が9,756点（約4.3トン）、家具が298点（約3.3トン）、日用雑貨が8,275点（約3.0トン）と多かった。 ・アンケート（n=930）より、60代から70代の女性の利用が多く、満足度は79.5%、事業継続の希望者は96.6%であった。
事業の評価・課題	・市としての評価：令和7年度も継続実施を予定。 ✓ 当初想定したリユース率よりも高い結果であり、2か月半の事業で約15トンのリユース・ごみ減量に貢献。ごみ排出量が多く、様々なごみ減量政策を模索する市にとっては、効果的な事業であったと評価。 ✓ 「市の事業だから」と気軽に安心して持ち込める環境を創出し、市民のリユース意識の向上にもつながった。 ・今後の課題など ✓ 財源の確保（引渡しの有償化も検討）、運営方法・品目目利きのマニュアル化、広報の強化・利用率の向上。 ✓ 民間事業者にもリユース品取扱状況の情報を共有し、リユースショップの受入れ体制の拡充に向けて啓発も図りたい。

リユース品の訪問回収プロジェクト ～地域のデジタルプラットフォームとの連携～

事業報告書

実施団体名八王子市

2025年1月

1. 対象地域の概要

八王子市(令和6年6月末時点)



人口：約56万人

面積：約186km²

年齢構成比：

0～14歳…10.4%

15～64歳…61.7%

65歳以上…27.9%

1. 対象地域の概要

【これまで行ってきたリユース施策】

・リユースショップ紹介冊子の作成

平成 26 年度以降、リユース業協会協力のもとリユースショップ紹介冊子を作成し、配布及び市HPで公開している。



1. 対象地域の概要

【これまで行ってきたリユース施策】

令和3年度から 株式会社ジモティー(以下、ジモティー)と不要品リユース実証事業を実施している(実績は下表のとおり)。

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
実施場所	戸吹クリーンセンター内	あったかホール	あったかホール
実施期間	約1か月 (1月～2月)	約7か月 (9月～3月)	約6ヵ月 (10月～3月)
リユース数 /総出品数	139品/145品	8,036品/8,123品	8,825品/10,081品
リユース率 /リユース量	95.9%/766kg	98.9%/39t	96.4%/47t ※

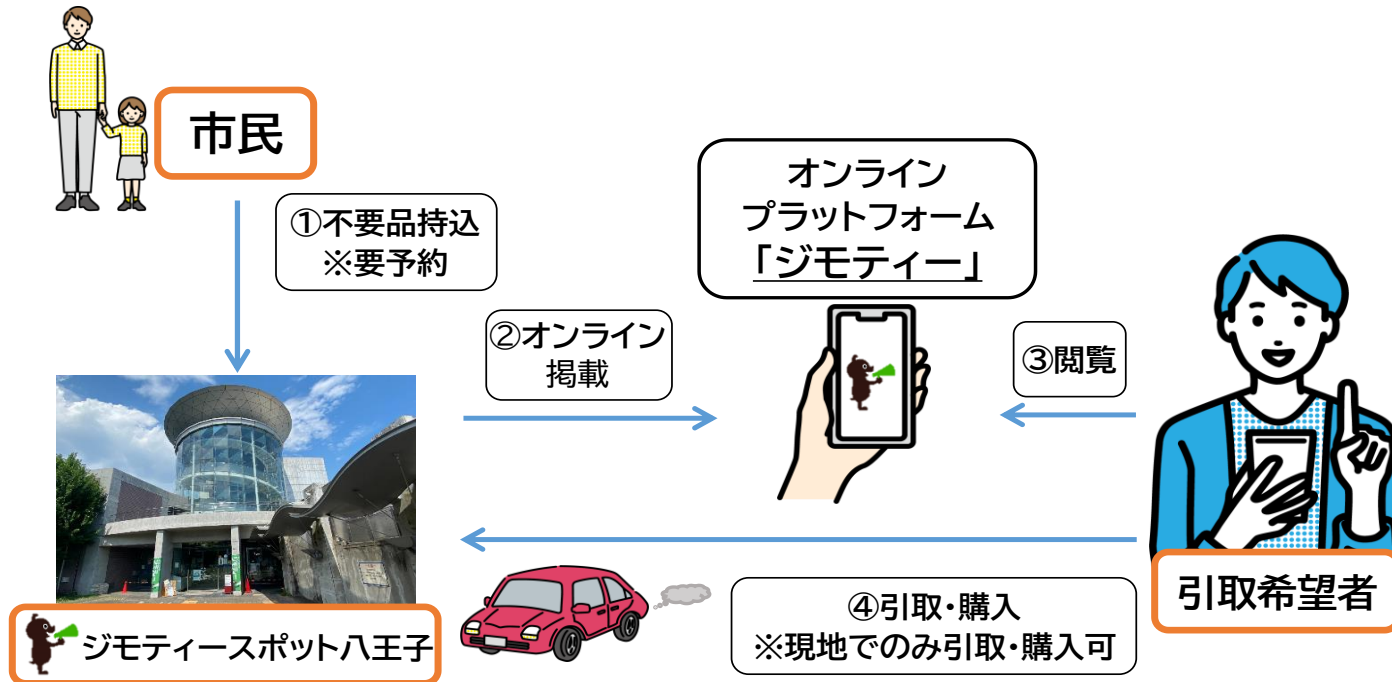
※令和5年度のリユース率は、2月末までに出品された品物の3月末時点の実績から算出

2. 事業の目的

- ジモティーと連携し、再利用可能な不要品を気軽にリユースできる仕組みを構築・運営することで、市民の利便性向上及び、事業の効率化を図ること。
- 様々な事情で品物を持ち込むことが難しい方を主な対象として戸別回収を実施し、更なる利便性向上やリユースの推進を図ること。
- 過去3年間の実証事業の結果を踏まえ、事業の本格化に向けた検証(予約枠の撤廃・営業日数の増加)や横展開の可能性についての検証を行うこと。

3. 事業の内容

・ 実施内容(継続実施分)



1. 市民が不要品を予約のうえ持ち込み、ジモティーが再利用可能と判断した場合は無料で引き取る(一部市が粗大ごみ等として引き取ったものを提供)。
※11月より、金曜日は予約不要。
2. 引き取った品物(リユース品)をジモティーに掲載する。
3. 引き取り希望の方へ、市施設内にて販売(一部無償で譲渡)する。

3. 事業の内容

- 実施期間

令和6年(2024年)4月1日～令和7年(2025年)3月31日

- 営業日時

金・土・日曜日(週3日)の10時～16時半

- 実施場所

あったかホール 1階(北野町596-3)

【施設概要】

1F:体育館(多目的ホール)

キッズスペース

エコひろば(八王子市環境学習室)

2F:喫茶、会議室、クールセンター八王子

3F:生きものの展示室

4F:温水プール

※駐車場あり(約30台駐車可)



3. 事業の内容

【売り場面積】

約100㎡



売り場

【倉庫面積】

約40㎡



倉庫

3. 事業の内容

ジモティースポットの様子



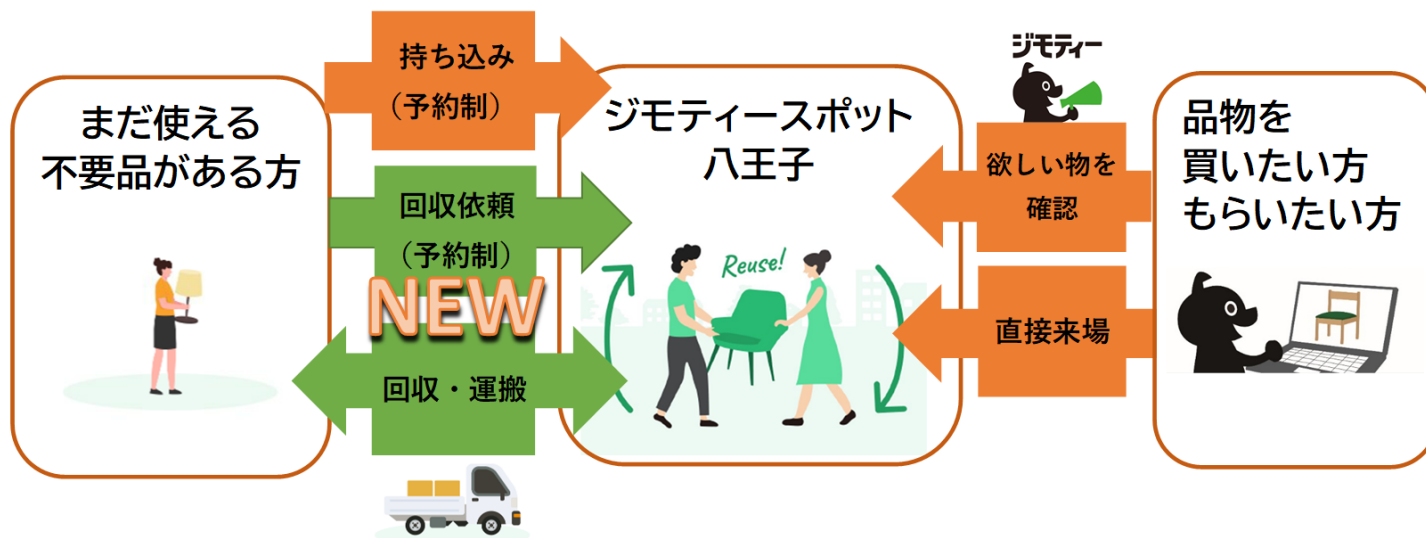
3. 事業の内容【新規取組】

- 実施内容

市民が不要品の戸別回収予約をオンラインで行い、ジモティーが再利用可能と判断した物について、戸別回収・あったかホールへの運搬を行う。

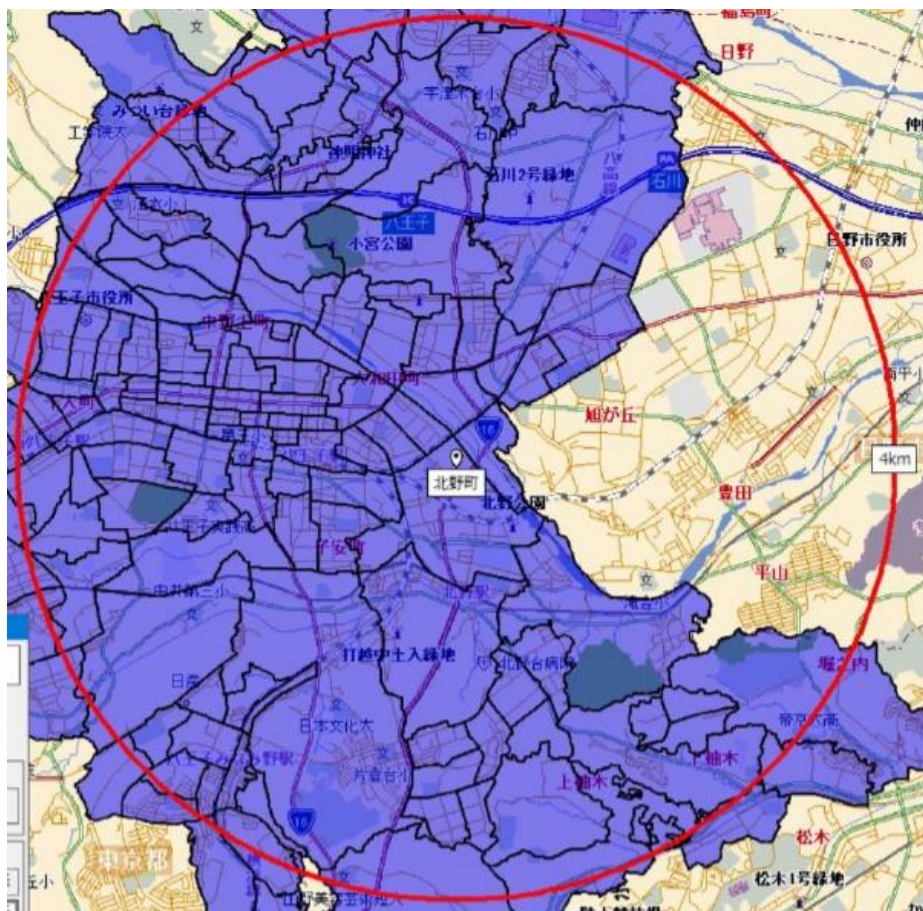
- 実施期間

令和6年(2024年)9月27日～令和6年(2024年)12月6日
期間中の隔週金曜日に計6回実施



3. 事業の内容【新規取組】

戸別(訪問)回収の対象地域



- ・対象地域
ジモティスポット八王子より
半径約4km
- ・対象世帯数
約173,000世帯

※半径4Kmのうち、塗りつぶし部分
以外是他市域(日野市)のため対象外

3. 事業の内容【新規取組】

戸別回収の様子



訪問の様子



運搬車両への積載の様子



あったかホール倉庫内(回収品)



- ・運搬は軽トラ、2t車の2台で実施
- ・玄関先での対面引渡し

3. 事業の内容



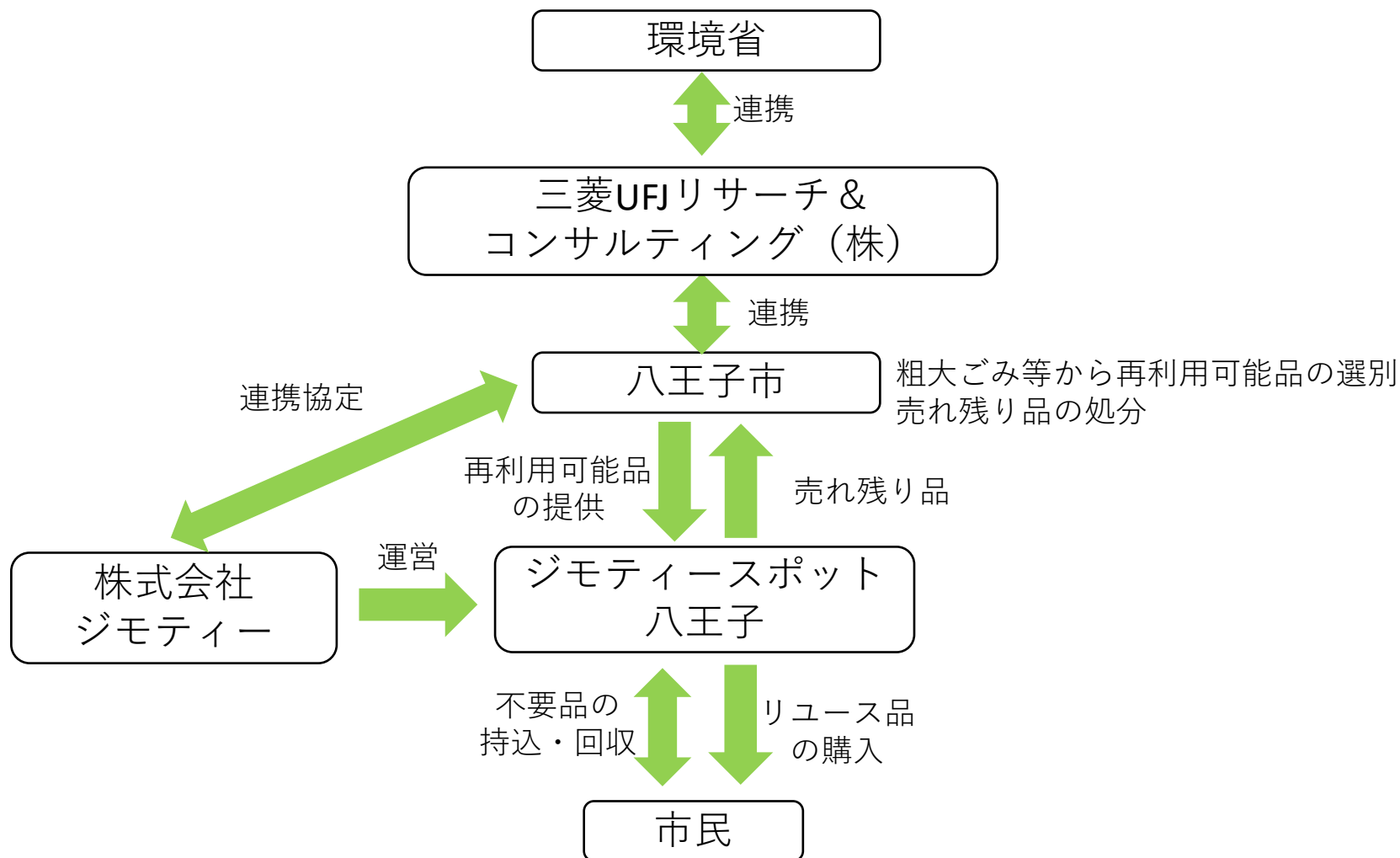
取り扱う主な品目
(持込・回収共通)

1. 家具(3辺合計180cm未満)・家電
2. スポーツ用品
3. レジャー用品
4. 子ども用品
5. 楽器

等

※次の人が使える状態のモノ

4. 事業の実施体制



5. 事業の成果（効果検証）

(1) 戸別回収の実績

【目標値】 1回収日あたり500品

	申込件数	回収件数	回収品数	出品数
9月27日	59	9	64	64
10月11日	79	23	267	277
10月25日	112	23	238	
11月8日	126	23	336	191
11月22日	105	19	311	
12月6日	116	18	462	12
計	597	115	1678	544
平均	100	19	280	

※回収した後に出品作業を行っており、出品作業は月をまたぐため回収品数＝出品数とならない。

計6回実施し、1件当たり約15品を回収。
1回収日あたりの品数は増加しているものの、目標値には届いていない。
10月25日以降の申込件数は100件を超えており、需要が一定程度ある。
売り場スペースが不足しており、出品できずに保管されたままの回収品が多い。

5. 事業の成果（効果検証）

※以降はジモティースポット全体の実績

(2)リユース品の引き渡し数及び重量よりごみの減量効果を検証

【目標値】 1営業日あたり 135 品の引渡し、約64tのごみ減量

	引渡数 (持込・回収)	重量(kg)	1営業日あたりの 引渡数
6月	2,026	10,113	145
7月	1,836	8,547	153
8月	1,835	8,229	131
9月	1,656	7,159	127
10月	1,337	6,523	111
11月	2,183	10,227	156
12月	1,586	7,357	132
合計	12,459 *	58,155	
平均	1,780	8,308	136
R5事業平均	1,471	7,776	118

1営業日あたりの引渡数(平均)は目標を達成した。令和5年度の事業と比較しても効果的に事業が行われていることが分かる。

*引渡した物品は、令和6年5月までに出品されたものを含む。

5. 事業の成果（効果検証）

(3)リユース率(引渡数/出品数)により、事業の効率性を検証

【目標値】 リユース率90%以上

	出品数 (持込・回収)	引渡数 (持込・回収)	リユース率
6月	2,412	2,026	84.0%
7月	1,711	1,836	107.3%
8月	1,869	1,835	98.2%
9月	1,815	1,656	91.2%
10月	1,579	1,337	84.7%
11月	2,374	2,183	92.0%
12月	1,715	1,586	92.5%
合計	13,475	12,459 *	92.5%
平均	1,925	1,780	
R5事業累計	10,081	8,825	96.4% ※
R5事業平均	1,680	1,471	

※R5事業累計のリユース率は、R6.2月末までに出品された品物のR6.3月末時点の実績から算出

6月～12月合計のリユース率は92.5%* となり、目標を達成している。

*引渡した物品は、令和6年5月までに出品されたものを含む。92.5%は令和6年6月～12月の出品数に対する割合。

5. 事業の成果（効果検証）

営業秘密情報を含んでいるため非公開

5. 事業の成果（効果検証）

（5）品目別出品数とリユース量

		家具	食器	電化製品	趣味	乳児用具 子ども遊具	作業用具	衣類	その他	合計
品目ごとの 出品数	出品数(点)	2,629	2,328	1,880	1,735	1,486	866	68	2,483	13,475
	出品量(Kg)	19,102	4,656	11,227	9,217	4,411	4,404	46	9,497	62,560
	うち戸別回収 出品数(点)	201	38	106	41	40	18	0	100	544
	出品量(Kg)	1,483	76	523	287	145	77	0	370	2,961
	出品量に 占める割合	(7.8%)	(1.6%)	(4.7%)	(3.1%)	(3.3%)	(1.7%)	(0.0%)	(3.9%)	(4.7%)
品目ごとの リユース量	リユース品数 (点)	2,463 (93.7%)	1,954 (83.9%)	1,759 (93.6%)	1,505 (86.7%)	1,368 (92.1%)	830 (95.8%)	59 (86.8%)	2,005 (80.7%)	11,943 (88.6%)
	リユース量 (Kg)	17,747 (92.9%)	3,908 (83.9%)	10,576 (94.2%)	7,993 (86.7%)	4,003 (90.8%)	4,214 (95.7%)	40 (87.0%)	7,402 (77.9%)	55,883 (89.3%)

※出品数・出品量は、令和6年6～12月に出品された品数。リユース品数・量・リユース率は、令和6年6月～12月に出品された品物について、令和7年1月までに販売・譲渡された品数から算出。P.16-17の引渡数等と異なる点に注意。

※品目の具体例

家具：3辺の合計180cm以内の家具（棚・ラック・椅子等）／ 食器：皿、茶碗、コップ、カトラリー等／
 電化製品：ストーブ、炊飯器等／ 趣味：スポーツ・レジャー用品、釣り竿、ゴルフ用品、キャンプ用品等／
 乳児用具・子ども遊具：ベビーカー、おもちゃ等／ 作業用具：カゴ、ゴミ箱等の生活用具等／
 衣類：衣類又は、服飾品／ その他：上記、記載のない日用雑貨等

5. 事業の成果（実証事業中の事業改善）

【戸別回収の課題(採算性の向上)への対応】

目的	取組内容
リユース需要の高い商品の回収	戸別回収申込フォームを分類選択から品名入力に変更。 ➡ <u>季節需要品等、ニーズの高い商品の優先回収。</u>
回収効率の向上	・事前に食器や小物類を段ボール等にまとめてもらう。 ・回収希望時間の選択肢を午前／午後の2本化。 ➡<u>1件の回収時間の短縮により、車両1台あたりの回収件数を増加。</u> ・2tトラックと軽自動車の組み合わせを状況により変更。 ➡<u>品目、品数、地域に合わせた最適な車両を配車することで、回収効率が向上。</u>

5. 事業の成果（実証事業中の事業改善）

【ジモティースポット利用者増に向けた取り組み】

家具や家電などの不要品 捨てずにリユースしてみませんか？ ※要予約

気持ちよく使えるものなら

八王子市&ジモティーが運営する
不要品持ち込みスポットOPEN

スポットに持ち込むだけ。
一度にまとめてお持ち
いただいてOK

土日と金に持ち込み可能です！

使えるものなら
無料でお引き取りします！

ご利用の流れ

01 スポットまで持ち込み
何点でもOKです！
土日の持ち込みはWebページから
ご予約ください。最短当日可能です。
※金曜日は予約なしで営業時間内に
持ち込み可能です。

02 モノと身分証の確認
持ち込まれたモノの確認を
します。また八王子市民と
わかる身分証のご提示を
お願いします。

03 持ち込み完了
店内に欲しいものか
ありましたら、
ご購入も可能です。

持ち込み対象のモノ

次の人が「気持ちよく」使える状態のモノで、
家具（3辺の合計が180cm以下）・家電・
レジャー・スポーツ用品・子ども用品等を
お持ち込みください。
詳細はWebページからご確認ください。
※一部対象外：リサイクル家電4品目、自転車、
マットレス・寝具

詳細・お問い合わせ

各二次元コードからご確認ください

サービスの詳細やご予約は
こちら

リユース品の譲渡・販売も
行っています。在庫確認はこちら

ジモティースポット八王子

住所 八王子市北野町 596-3
(八王子市北野町駅跡センター)

営業日 金曜日、土曜日、日曜日

営業時間 10:00~16:30

問合せ先 070-8829-0453
hachiojispot@jmt.jp

八王子市と株式会社ジモ
ティーが、軽たごみのリユ
ースを促進し、ごみの減量
を図ることを目的とした実証
実験を行うスポットです。

注意事項

- 災害等の不測の事態などの場合に、予告なく内容、実施期間、営業時間を変更する場合がありますので、ご了承ください。
- 他の方が気持ちよく使える状況にないものなど、他の方への迷惑が懸念される場合、お持ち帰りいただくことがあります。
- スポットの敷地内外にかかわらず、車両などによる事故等に関しては、ジモティーは一切責任を負いません。



②あったかホールまつりへの出展

八王子市 × ジモティー

ジモティースポット八王子
持ち込み日時予約フォーム

品物を持ち込む日時を下記からご予約ください。
予約完了ページに表示されます予約番号を必ずお控えください。
※八王子市民の方のみご利用いただけます。当日はご住所が分かる身分証をお持ちください。
※予約可能な日時は、随時更新いたします。
※予約後の日時の変更はできません。
※お持ち込み可能なモノをこちらからご確認の上、ご予約ください

持ち込み日時

日付

未選択

未選択

2024年12月20日(金) 予約なしで持ち込み可能

2024年12月21日(土) 残り5以上

2024年12月22日(日) 残り5以上

2024年12月27日(金) 予約なしで持ち込み可能

①各種イベントでのチラシ配布

③金曜日の持込予約枠の撤廃

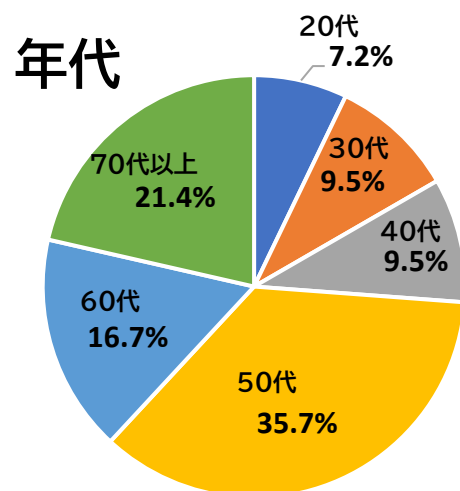
5. 事業の成果（アンケート結果）

戸別回収利用者のアンケート調査を実施

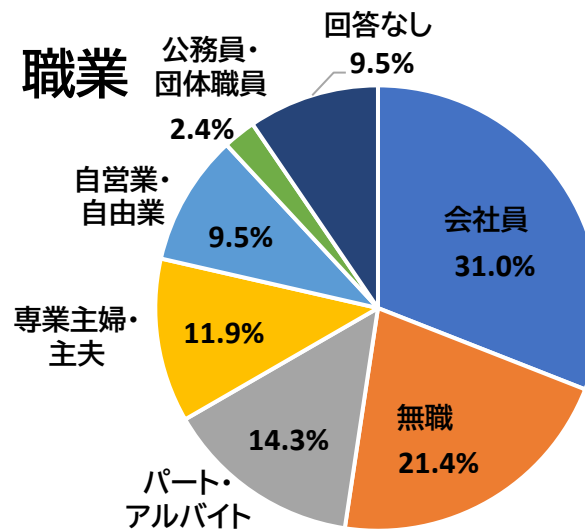
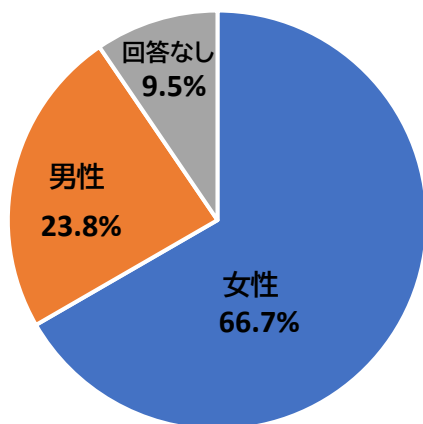
	内容
実施期間	令和6年12月3日(火)～12月8日(日)
回答数	・対象者 97名 (令和6年9月27日(金)～11月22日(金)の戸別回収利用者) ・回答者数 42名 (回答率:43.3%)
実施方法	オンライン(Googleフォームへの回答依頼をメールにて送付)

5. 事業の成果（アンケート結果）

戸別回収利用者のアンケート結果(計42名)



性別

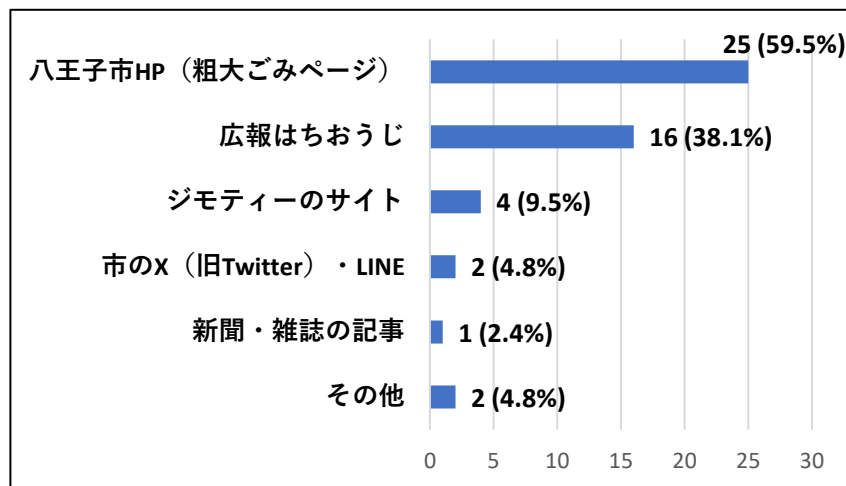


- 50代以上を中心に、幅広い年代の方が利用
- 会社員が3割と最も多い
- 回答者は女性が約7割

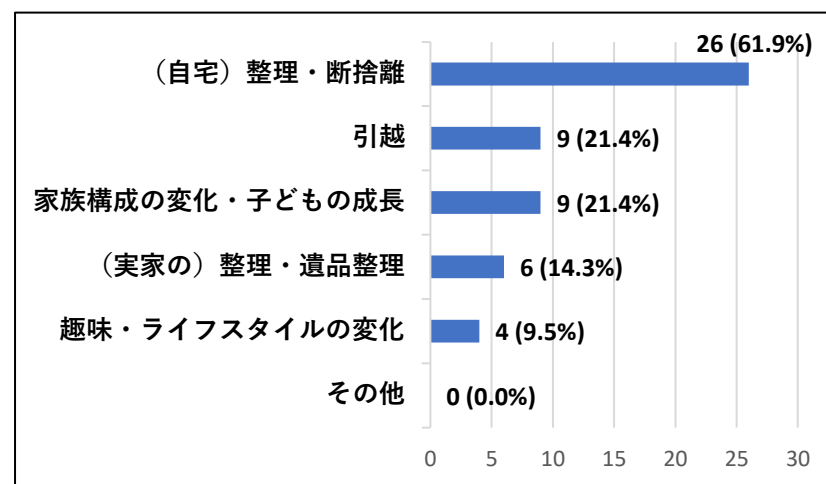
5. 事業の成果（アンケート結果）

戸別回収利用者のアンケート結果(計42名)

戸別回収を知ったきっかけ《複数選択可》



不要品が出たきっかけ《複数選択可》

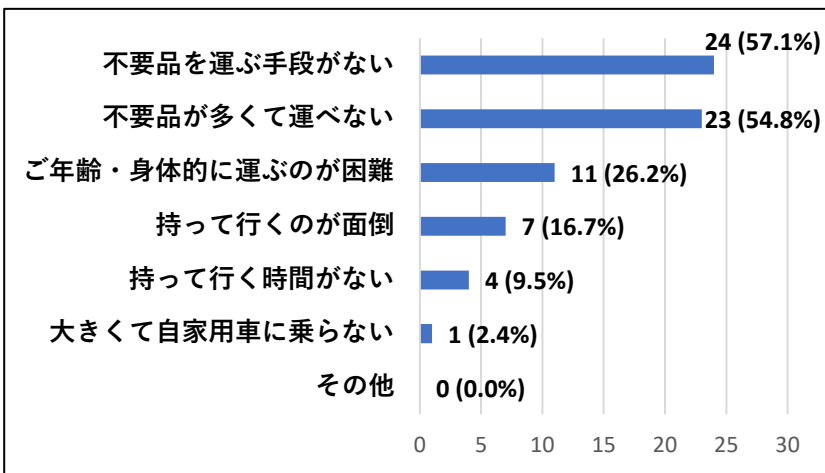


- 戸別回収事業を知ったきっかけは、市のHP(粗大ごみ申込ページ)が6割、広報紙が4割と多い。
- 不要品が出たきっかけは自宅の整理が6割と最も多く、ほか引越、家族構成の変化等様々。

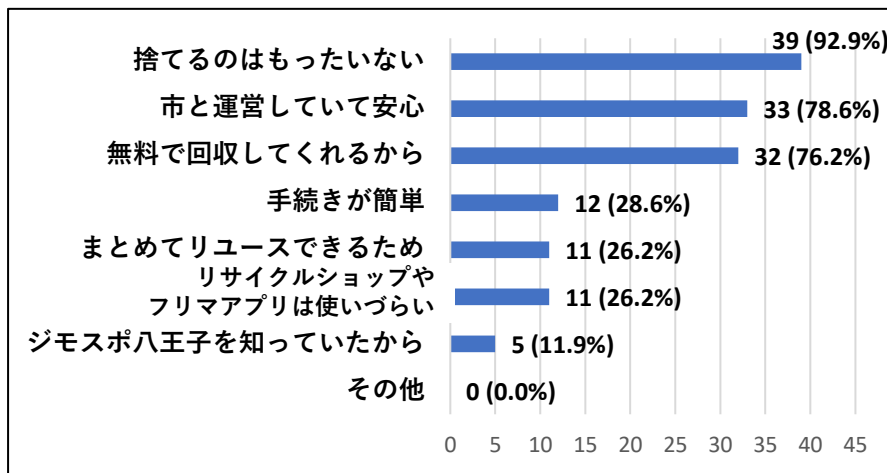
5. 事業の成果（アンケート結果）

戸別回収利用者のアンケート結果(計42名)

持込ではなく戸別回収を利用した理由《複数選択可》



ジモティーを選んだ理由《複数選択可》

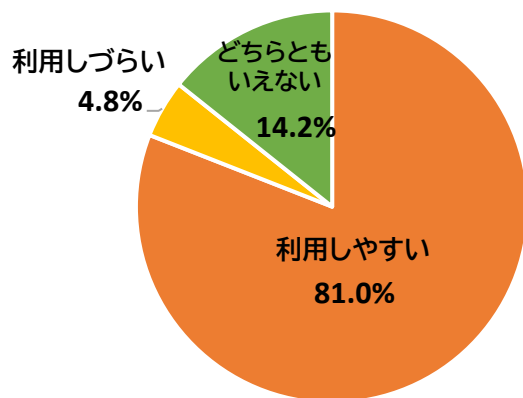


- 「不要品を運ぶ手段がない」「不要品が多くて運べない」ことを理由に利用した方が5～6割。また、回答者の1/4は年齢や身体的困難さが理由であり、本事業のターゲットと合致。
- ジモティーを選んだ理由として、8～9割の方が「ごみとして捨てるのはもったいない」「市と運営していて安心」「無料だから」と回答。

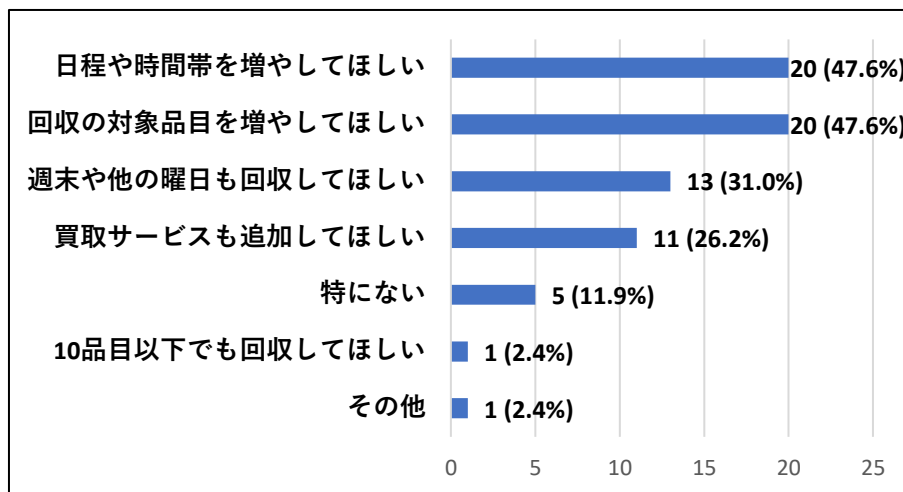
5. 事業の成果（アンケート結果）

戸別回収利用者のアンケート結果(計42名)

利用しての感想



改善してほしい点《複数選択可》



- 戸別回収を利用しやすいと回答した方が約8割。
- 改善を望む点としては、日程や時間帯の増、対象品目の拡大が最も多かった。

5. 事業の成果（アンケート結果）

戸別回収利用者のアンケート結果(計42名)

【感想】※一部抜粋

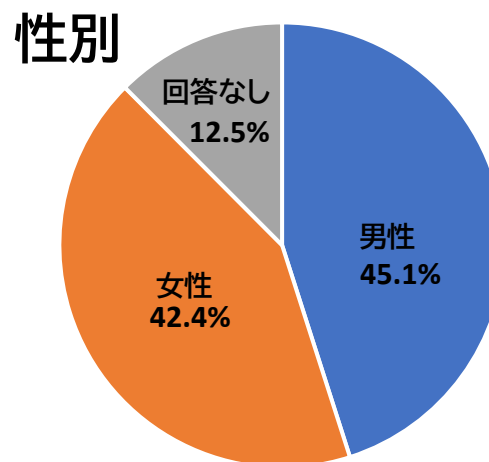
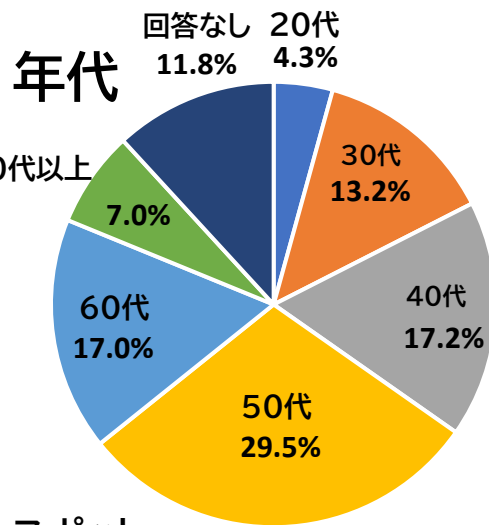
- ・ 使えるのに捨てるのはもったいないので、どなたかのお役に立てて嬉しい。
- ・ 自家用車を持たない身では大変ありがたいサービスです。
- ・ 自宅まで回収してくれるのは高齢者にはありがたい。
- ・ 移動や車に積むのが大変で、粗大ごみとして出してしまうことも多かったので、本当にありがたかった。
- ・ 大きさ制限を緩和し、大きい家具なども再利用してほしい。
- ・ 使える家電等、買取のしくみもあればと思います。
- ・ 月に1回、2ヶ月に1回でもいいので、今後も継続してほしい。



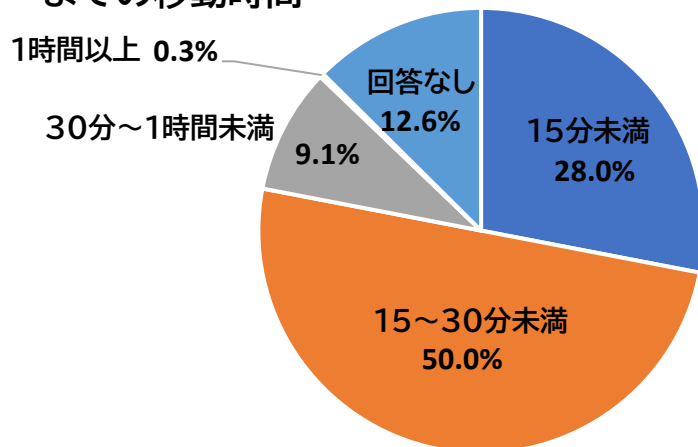
継続実施を求める声、大きさ制限の緩和を求める声が多くあった。

5. 事業の成果（アンケート結果）

ジモティースポット(持ち込み)利用者のアンケート結果(計1074名)



ジモティースポット までの移動時間

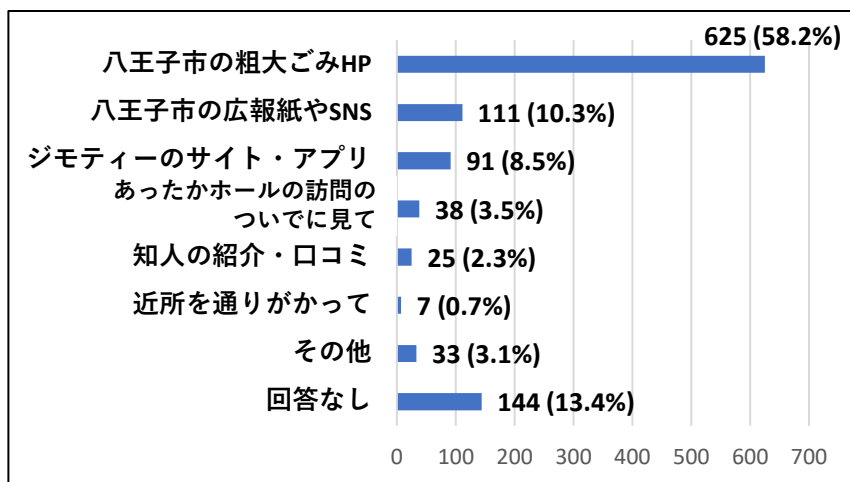


- 30～60代を中心に、幅広い年代の方に利用されている。
- 性別での利用差はない。
- 利用者の約8割はジモティースポットまでの移動時間が30分未満の方。

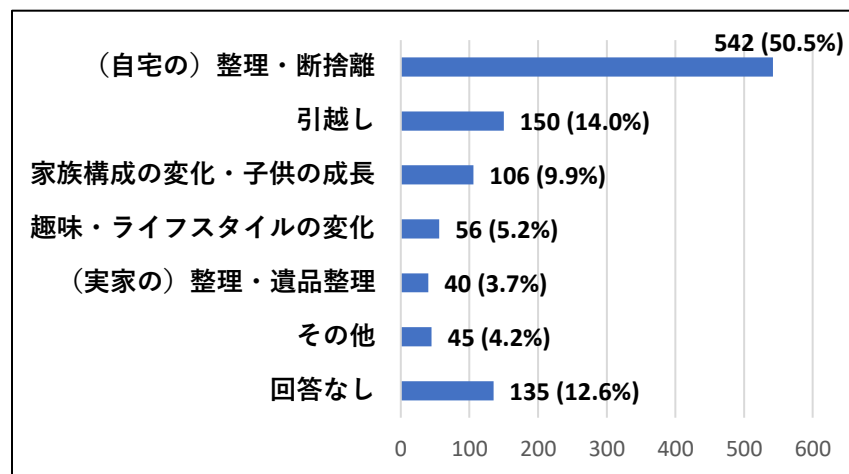
5. 事業の成果（アンケート結果）

ジモティースポット(持ち込み)利用者のアンケート結果(計1074名)

ジモティースポットを知ったきっかけ



不要品が出たきっかけ

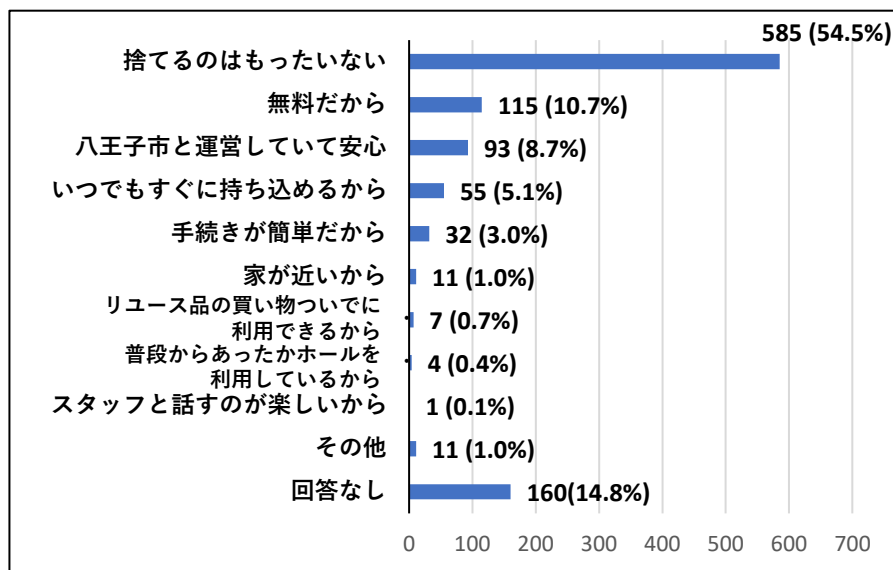


- ・ 市のHP(粗大ごみ申込ページ)がジモティースポットへの不要品持ち込み事業を知るきっかけであることが多い。
- ・ 不要品が出たきっかけは戸別回収と同じく、自宅の整理・断捨離が最も多く、ほか引越、家族構成の変化等様々。

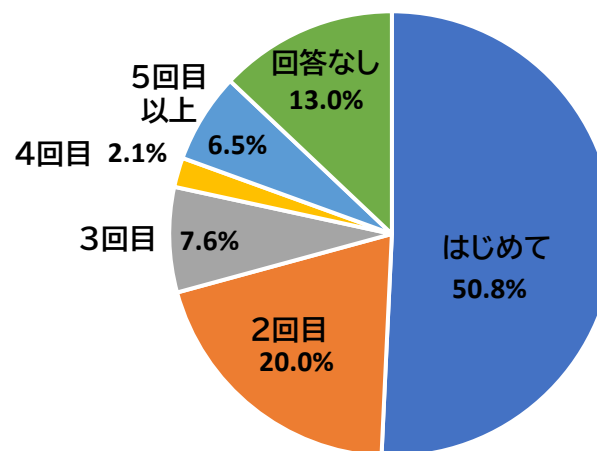
5. 事業の成果（アンケート結果）

ジモティースポット(持ち込み)利用者のアンケート結果(計1074名)

不要品持ち込み先にジモティースポットを選んだ理由



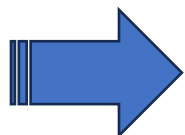
持ち込み利用回数



- 持ち込み先としてジモティースポットを選んだ理由は、「ごみとして捨てるのはもったいない」が約5割、ほか「無料だから」、「八王子市と運営していて安心だから」「いつでもすぐに持ち込めるから」等様々。
- 利用者の約4割はリピーター(持ち込み利用回数2回目以上)。

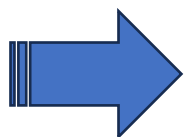
5. 事業の成果（まとめ）

- ・ 戸別回収の実施や予約枠の一部撤廃、イベントでの周知等によって、昨年度と比較して出品数・引渡し数が増加しており、リユース率も90%を超えている。



「事業の効率性」が向上

- ・ 事業を継続して実施することで、知名度が向上し、リピーターの利用が増えている。（持ち込み者のリピーター率：36.2%）
- ・ 戸別回収の実施により、これまで持ち込みが困難なことを理由に廃棄されていた不要品の再利用が図られた。



「ごみの減量効果」が向上

5. 事業の成果（ジモティーより）

戸別回収サービス実証実験で改善を進めたポイント

①回収効率の向上

申込フォームの修正

- 1)回収品名/個数を入力追加、1名で運べる回収品かの確認項目を追加
- 2)食器、小物類を段ボール等、事前にまとめて準備頂くように市民に協力を要請
- 3)回収内容に合わせた、回収車両(2tトラックor軽貨物)の最適な配車

▼以上の改善により、回収車両1台当たりの回収件数が25%向上
コスト削減につながる検証につながった

②商品回転率の向上

申込フォームの修正により、季節商品など需要の高い商品を優先的に回収することにより、商品回転率(=リユース率)の向上を図った

◎今後の課題

実証実験は、地域限定で行ったが、全市域へサービス展開した際、収益性など課題を掘り起こして、検討が必要

また、一時的に回収品を保管する場所など、物理的課題も要検討

6. 今後の検討課題

1. 売り場・保管スペースの確保

引き取った品物の量に対して、品物を陳列するスペースが不足しており、出品できないまま滞留してしまっている。

2. 事業の採算性

■スポット運営について

運営日の増加をスペースの確保と合わせて検討する必要がある。

■戸別回収について

収集運搬費の高騰に対応するため、質が良く、購入需要が高い品を効率的に回収する方法の検討が必要である。

7. 事業終了後の展開

■スポット運営について

令和7年度も、令和6年度と同様の運営日(金土日10時～16時半)で継続実施予定。

令和7年度中に運営日の増加をスペースの確保と合わせて検討する。

■戸別回収について

モデル事業での回収品の内容や回収の効率性、コストを検証し、スポット的な実施を検討する。

8. 横展開へのポイント

【事業実施に向けたポイント】

1. スポット運営について	2. 戸別回収について
①場所の確保 （売り場、保管スペース、駐車場スペースや導線等も確保） ②スポットの所在地 （集客が見込める場所であるか） ③取扱い対象品目の設定 ④売れ残った商品の廃棄の取扱いについての整理 （所有権はどちらに帰属するのか、減免とするのか）	①対象地域の選定 （スポットからの距離、ターゲットとする世帯構成） ②取扱い対象品目の設定 ③場所の確保 ④費用対効果の検討

8. 横展開へのポイント

情報提供を通じて他自治体への横展開をしている。

■他市からの視察受入での説明

富山市(市議会)、宮崎市(市議会)、福岡市

■電話での問い合わせ対応

仙台市、奈良市、堺市等 9自治体

■主な質疑

- 1.事業を行う上での課題
- 2.事業の運営体制について
- 3.集客具合
- 4.事業の効果測定方法
- 5.市民からの反響 等

9. 3 か年を振り返って

(1) 自治体と民間企業が連携するメリットについて

自治体側のメリット

民間企業の持つシステムや
ノウハウを活用できる

(株)ジモティーが有するオンラインプラットフォームを活用し、より多くの方が気軽にリユースに取り組めている。

また、他自治体でのノウハウをもとに、販売価格の設定や状況に応じた変更なども臨機応変に行うことができ、リユース品の効率的な流通に貢献している。

民間企業側のメリット

(ジモティー)

不要品リユースを希望する市民
へダイレクトに伝えられる

市の粗大ごみ申込ページから、廃棄ではなくジモテースポットへの持ち込みを案内することで、リユースへの誘導を効果的に行うことができています。

また、行政と連携することで、信頼性が向上し、多くの方に安心して利用していただける。



9. 3か年を振り返って

(2)ジモティースポットへの評価

■リユースの推進に貢献

行政が苦手な層への周知への貢献度が高く、令和4年度から令和6年度の3か年のモデル事業で総リユース重量は約144tとなり、ごみ減量及びリユース推進への大きなインパクトを生み出している。

また、一般的なリユースショップでは引き取りが難しい品を主なターゲットとするため、再利用可能な不要品を無料で受け取ることで、民業との棲み分けを行っている点も評価できる。

■環境意識の向上

ジモティースポットには、持ち込み者・購入者あわせて営業日1日あたり100名以上の来店がある。ジモティースポットは市の環境啓発施設内にあり、ジモティースポットの利用が同施設で行われている事業を知るきっかけにもなっている。また、環境イベント等を目的とした同施設への来館がジモティースポットを知るきっかけにもなっており、両事業がそれぞれへの相乗効果を創出している。

9. 3か年を振り返って

(3)事業実施にあたり、難しかった点

■公平性の担保

公平なサービス提供を重視する自治体と事業の効率性を重視する民間企業とで連携して事業を行うため、事業実施の手法や戸別回収対象地域の選定方法等の調整に苦慮した。

(例)

- ・ インターネットを活用できない住民への対応
- ・ 戸別回収対象地域の選定

■役割分担

事業の効率性を高めるために問い合わせもメールのみからであり、電話での問い合わせ対応は市が行わざるを得なかった。また、当初は民間事業として採算を取れると見込んでいたが、見込み通りにはいかなかったため、その分の費用をどのように補填するかや、事業の効率性を高めるための調整を行った。

9. 3 か年を振り返って

(4)実施形態の違いに関する評価

令和4年度	令和5年度	令和6年度
公募によりジモティーを選定し協定を締結	ジモティーと協定を締結 (一部期間は委託)	ジモティーと協定を締結

<連携企業選定手法>

	メリット	デメリット
公募	・本市の目指す事業と合致するノウハウを持つ企業とのマッチングが可能 ・事業の透明性を確保	・市、民間双方に事務手続きが発生 ・協定期間終了後に再度公募をする場合、事業の継続性が担保できない

<連携形態>

	メリット	デメリット
委託	・費用を市が負担することで、事業の継続性を担保	・創意工夫により売り上げを増加させても、市の歳入となるため、民間企業にとってメリットがない

リユーススポット実証事業 事業報告書

実施団体名 郡山市

2024年12月

実施事業の概要

リユーススポットの運営

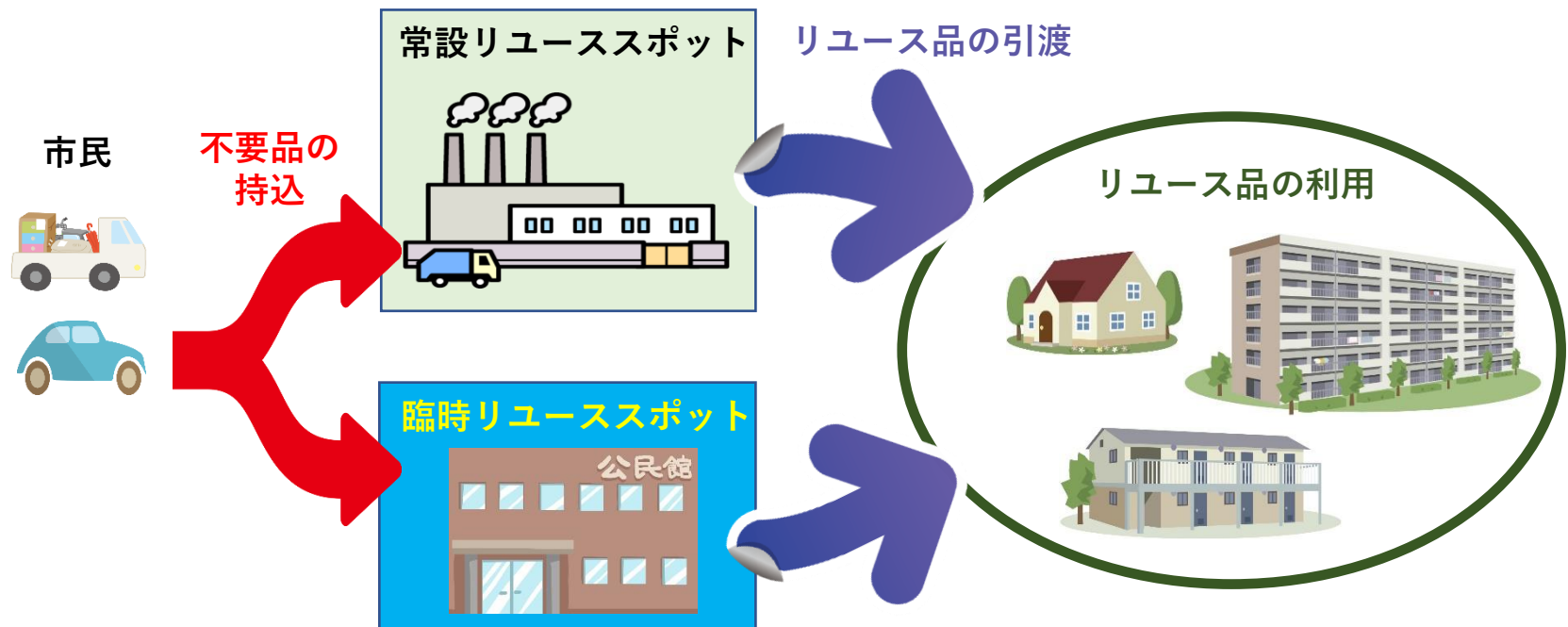
■自宅にある「不要だけどまだ使える物」を、欲しい人に使ってもらう

⇒ごみとして捨てられる前に集め、ごみの減量化につながる

■常設のリユーススポットと、臨時のリユーススポットを開設

⇒常設場所から遠方の市民も利用できる機会を設け、リユースに対する意識向上を図る

実施イメージ

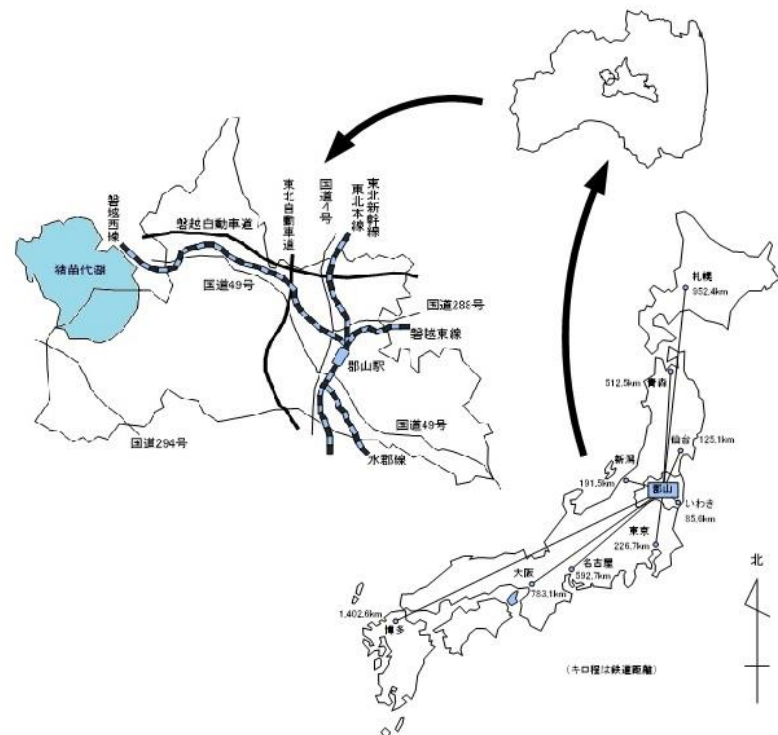


1. 対象地域の概要

郡山市の概要

福島県の中央部に位置し、西は猪苗代湖の一部、東は阿武隈山地、北は安達太良山山頂に達する。市街地東部を阿武隈川が南北に流れ、中央部は猪苗代湖を水源とする安積疏水・新安積疏水により灌漑が進み、稲作地帯となっている。

交通の要衝でもあり、中央部を東北自動車道と国道4号が南北に貫き、磐越自動車道と国道49号が東西に交差しているほか、鉄道は東北新幹線や東北本線をはじめ、磐越西線・磐越東線・水郡線の結節点となっている。



現住人口		世帯数		人口密度		産業別就業者数			
318,894人		144,033世帯		424.90人／km ²		第1次	第2次	第3次	
						2.8%	23.7%	69.3%	
年齢構成									
～9歳	～19歳	～29歳	～39歳	～49歳	～59歳	～69歳	～79歳	～89歳	90歳～
7.7%	8.9%	9.4%	11.4%	14.0%	12.9%	13.5%	11.4%	6.4%	1.7%

※現住人口・世帯数は令和6年12月1日現在、人口密度は令和5年10月1日現在、産業別就業者数・年齢構成は令和2年度国勢調査より

1. 対象地域の概要

郡山市で実施済みのリユース事業

■粗大ごみ再使用推進事業の実施

2008（平成20）年度から、循環型社会の形成とごみ減量化を図ることを目的として実施し、2019（令和元）年8月までに実施した35回の展示会で626点をリユースした。同年10月に発生した水害で会場が使用できなくなり、さらに、翌年からの新型コロナウイルス感染症まん延により、市民が集まるイベントであるため中止していた。



品物を集める職員の不足から、開催数は年に数回、出品数も1回当たり20点程度となっており、新たな開催方法について模索していた。

■掲示板サイト「ジモティー」の利用

2023（令和5）年1月16日、循環型社会の構築と、ごみの削減に向けた取り組みを進めるため、株式会社ジモティーとリユースに関する協定を締結した。

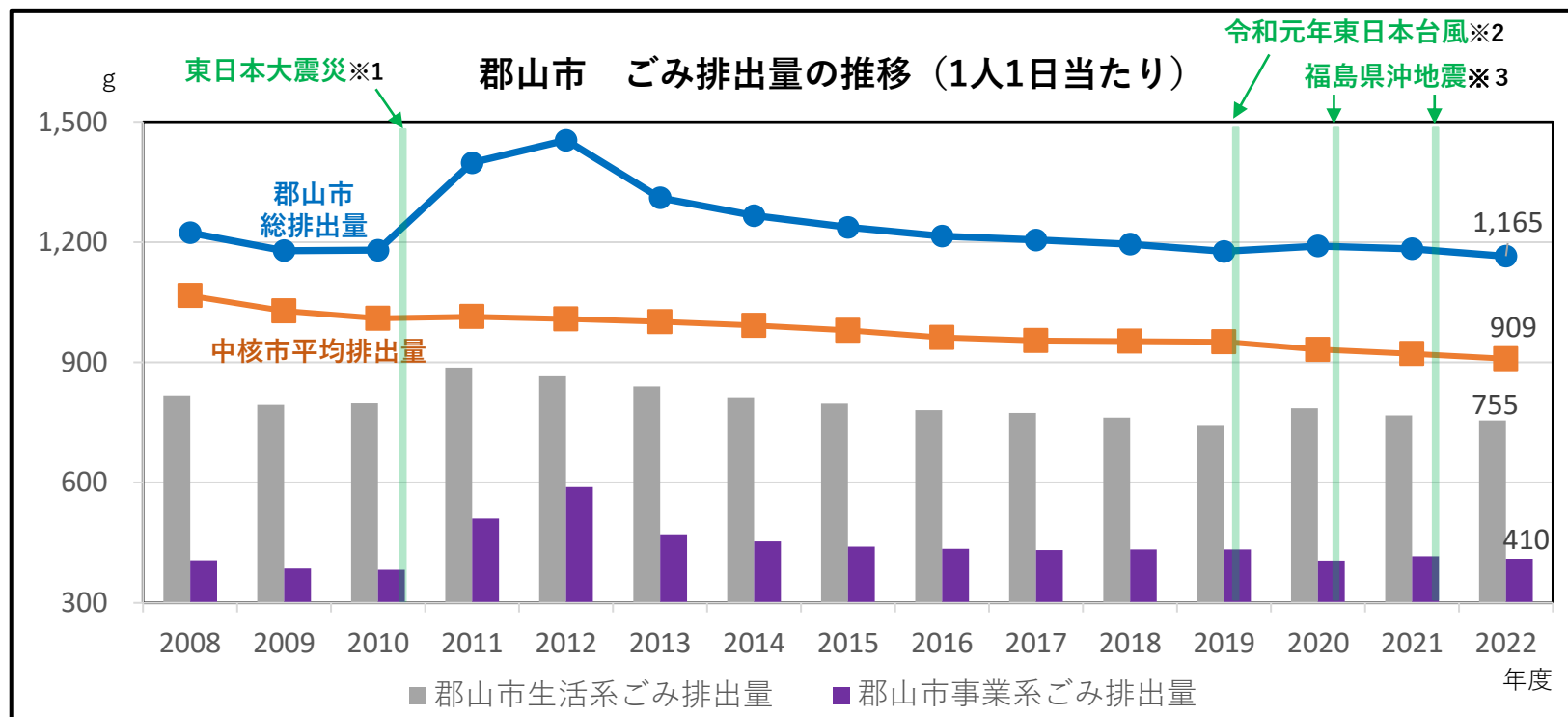
■リユースプラットフォーム「おいくら」の利用

2023（令和5）年11月24日、リユースプラットフォーム「おいくら」の活用による不要品リユースを推進するため、株式会社マーケットエンタープライズと協定を締結した。

2. 事業の目的

郡山市の現状

郡山市は、災害のたびにゴミ排出量が増加しており、令和4年度実績による比較で、1人1日当たりゴミ排出量が中核市62市中で最も多くなっている。



- ※1 東日本大震災・・・2011（平成23）年3月11日に発生したマグニチュード9.0の地震。郡山市では震度6弱を観測。
- ※2 令和元年東日本台風・・・2019（令和元）年10月12日午後から本市へ接近・通過した台風19号による水害。阿武隈川の越水等により21,331世帯が浸水するなどの被害が出た。
- ※3 福島県沖地震・・・①2021（令和3）年2月13日に発生したマグニチュード7.3の地震。郡山市では震度6弱を観測。
②2022（令和4）年3月16日に発生したマグニチュード7.4の地震。郡山市では震度5強を観測。

2. 事業の目的

事業の目的

■リユースの推進によるごみ減量

市民のリユース行動を支援するため、株式会社ジモティー及び株式会社マーケットエンタープライズと連携協定を締結し、「ジモティー及びおいぐらの利活用」促進を図ってきた。しかし、「パソコンの使い方が分からない」という高齢者等や、「ごみとして出すほうが楽」という郊外に住む市民が一定数おり、対応を検討する必要があった。

令和元年度から中止していた「粗大ごみ再使用推進事業」の代替事業を検討していたこともあり、新たな事業として実施。本実証実験により、市民のニーズを分析し、郡山市に合った事業形態を模索する。

郡山市からのお知らせ

リユーススポットを利用してごみを減らそう

不要になったリユース品 大募集

受け入れ・引き渡し 無料

不要だけどまだ使えるもの、みなさんの家にありませんか？
必要としている人に使ってもらいましょう！

常設リユーススポット

河内クリーンセンター管理棟玄関ホール
郡山市蓬瀬町河内字西午房沢 59
【お問合せ先】
▷5R推進課：024-924-2181
▷リユーススポット直通：080-5347-3464

10/3(木) >>> 12/13(金)
9:00 ~ 16:00(※土・日曜日を除く)

河内小学校 河内公園 河内クリーンセンター

臨時リユーススポット

市内公共施設（会場は裏面のとおり）

対象品

- ◎家具
- ◎陶器・食器
- ◎日用雑貨
- ◎書籍
- ◎CD、DVD
- ◎スポーツ用品
- ◎バッグ
- ◎衣類・子供服、タオル（新品又は洗濯済み）

除外品

- ×自転車
- ×寝具
- ×家電（コンセント又は充電電池を使用するもの）
- ×パソコン
- ×モバイルバッテリー
- ×食品
- ×医薬品
- ×動植物
- ×危険物
- ×法令、公序良俗に違反するもの
- ×事業所で使用していたもの

など

リユーススポット実証事業について
本事業は環境省「令和6年度使用済製品等のリユースに関する自治体モデル実証事業」に採択され、実施しております。

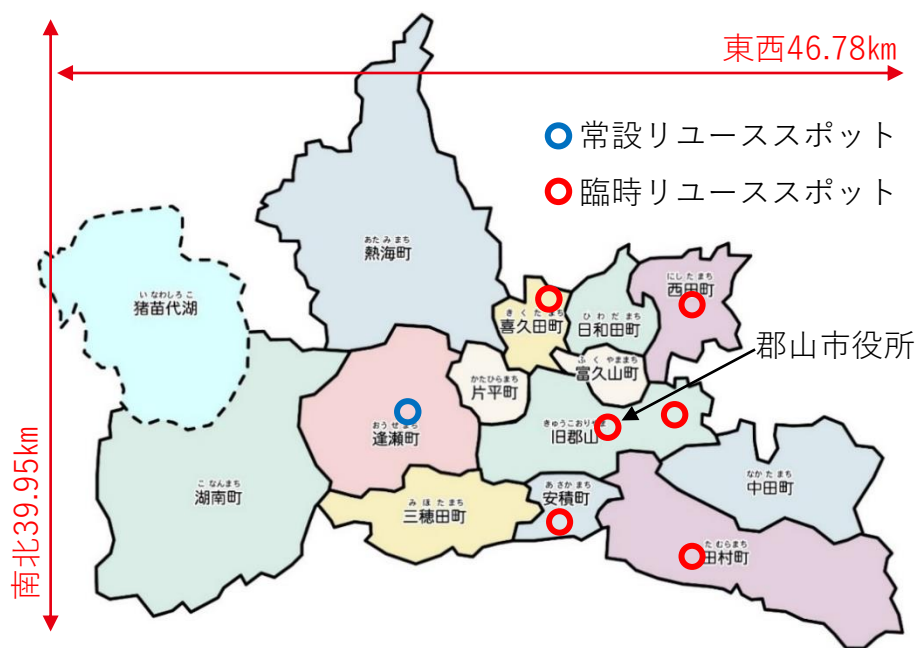
お問合せ先
◎郡山市環境部5R推進課
TEL:024-924-2181
◎リユーススポット直通
TEL:080-5347-3464
詳しくはこちら

2. 事業の目的

実施エリア

■郡山市全域が対象

郡山市は市域が広く、中心部と郊外では人口に大きな差がある。全域をカバーするリユース事業とするため、常設リユーススポットのほかに、臨時リユーススポットを1日限定で開設した。



※地図上の「旧郡山」には、右表の「郡山」「富田町」「大槻町」が入る

地域	現住人口	世帯数	備考
合計	318,894	144,033	
郡山	121,855	58,744	臨時RS設置
富田町	26,291	11,937	
大槻町	30,454	12,913	
安積町	34,639	15,696	臨時RS設置
三穂田町	3,674	1,232	
逢瀬町	3,463	1,238	常設RS設置
片平町	5,924	2,061	
喜久田町	12,076	4,681	臨時RS設置
日和田町	10,331	4,167	
富久山町	37,682	17,739	
湖南町	2,448	1,044	
熱海町	4,906	1,716	
田村町	17,431	8,061	臨時RS設置
西田町	3,937	1,400	臨時RS設置
中田町	3,783	1,404	

数値は令和6年12月1日現在
RS…リユーススポットの略

3. 事業の内容

実施内容

■ 2 種類のリユーススポットを設置

郡山市西部（逢瀬町）の河内クリーンセンター内に常設の「常設リユーススポット」を、郡山市東部の公共施設に1日限りで設置する「臨時リユーススポット」を開設する。

取組	常設リユーススポット	臨時リユーススポット
実施内容	郡山市河内クリーンセンターに開設し、リユース品の引き取り及び引き渡しを行う。	公共施設に1日限定で開設し、リユース品の引き取り及び引き渡しを行う。
取扱対象品	家具、陶器、日用雑貨、書籍、CD、DVD、スポーツ用品、バッグ、衣類（新品又は洗濯済みに限る）など。	左記から、大型のもの（「長さが1m以上」「3辺の長さの合計が1.5m以上」「重さが10kg以上で容易に運搬しがたい」のいずれかに該当するもの）を除く
取扱除外品	自転車、寝具、家電（コンセント・充電電池を使用するもの）パソコン、モバイルバッテリー、食品、医薬品、動植物、危険物、法令及び公序良俗に反するもの、事業所で使用していたものなど	
実施時期	令和6年10月3日から12月13日までの月曜日から金曜日（祝日含む）	7回（常設リユーススポット開設期間内の土曜日）
選定のポイント	広い駐車場があること、長期間借用できるスペースがあること、リユースされなかった物の廃棄が容易であること	広い駐車場があること、常設リユーススポットから離れた場所であること、来場者が容易に認知できる場所であること

3. 事業の内容

実施内容

■常設リユーススポット（河内クリーンセンター・逢瀬町）

郡山市の一般廃棄物処理施設である河内クリーンセンター管理棟で実施。

- ・ 会場設営 10月1日（火）から10月3日（木）まで
- ・ 開設 10月3日（木）から12月13日（金）までの月曜日から金曜日（祝日含む）
- ・ 閉鎖業務 12月16日（月）から12月20日（金）まで
- ・ 部屋面積 家具置場 約24㎡ その他置場 約24㎡
- ・ 選定条件 広い駐車場があること、長期間借用できるスペースがあること、リユースされなかった物の廃棄が容易であること



3. 事業の内容

実施内容

■臨時リユーススポット

郡山市内の公共施設において、土曜日1日限りで実施。常設リユーススポットの物を一部搬出して展示、終了後残った物は常設リユーススポットへ持ち帰る。

- ・選定条件 広い駐車場があること、常設リユーススポットから離れた場所であること、リユース品が置けること、来場者の出入りが容易であること

会場名	開催日	部屋面積
郡山市役所 本庁舎玄関ホール (郡山)	10/5 11/9	約40㎡
西田公民館 会議室 (西田町)	10/12	約50㎡
安積総合学習センター 体育館 (安積町)	10/19	約75㎡※

会場名	開催日	部屋面積
田村公民館 休憩所 (田村町)	11/16	約20㎡
喜久田公民館 研修室 (喜久田町)	11/23	約47㎡
緑ヶ丘地域公民館 和室 (郡山)	11/30	約55㎡

※体育館の一部を使用したため、面積は概算



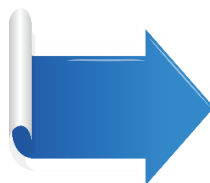
3. 事業の内容

リユース品の持込み

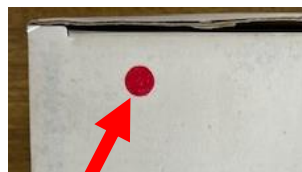
予約無しで来場可。ごみ処理手数料が無料のため、持込料も無料。



市民がリユース品を持ち込み



担当者が持込品を確認、除外品を返却



シール



ジモティー / 売ります・あげます / 家具 / テーブル / 座卓	
【郡山市役所リユーススポット】ローテーブル (ジ-2)	
投稿ID: 1cz3z8 2024年10月9日 13:37	
	
価格	0円
取引場所	郡山市
ジャンル	テーブル > 座卓、ローテ

大型家具は郡山市公式ジモティーへ出品



展示週を区別するシールを貼付し、即時陳列

3. 事業の内容

リユース品の引渡し

予約無しで来場可。これまで実施していた「粗大ごみ再使用推進事業」も引渡無料で実施しており、本事業も引渡無料とした。

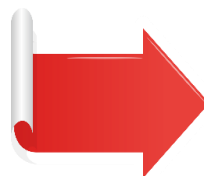
リユース品の予約や取り置きは不可とした（ジモティー掲載品も含む）。



来場者が欲しいものを選ぶ



欲しいものを受付に持参



引渡



ジモティー掲載品は
掲示板から削除



引渡品の確認、重量等を台帳に記入

3. 事業の内容

定期的な作業

■郡山市HPへの定期的な掲載

毎日変わる在庫品を紹介



■気づきノートの作成

日々の作業で気づいたことを書き込む



■在庫品の確認及び入れ替え

概ね3週間を経過しても残った物は、「人気のない物台帳」へ記載し展示を終了する。



入替作業

■返却台帳の作成

持ち込まれた品を受け取らず返却した際、どのような経緯で返却したのかを記録

■来場者数の把握

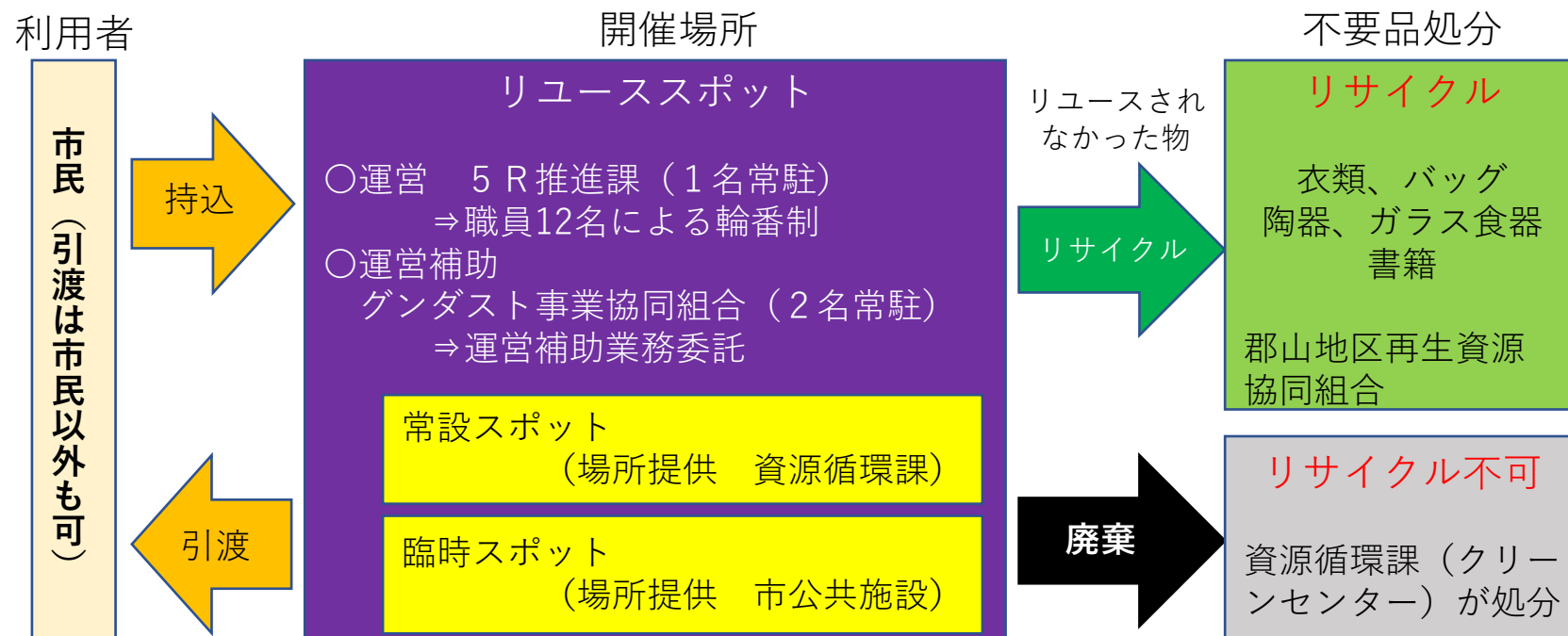
曜日、時間で来場者数の変化を確認

4. 事業の実施体制

参加団体

- 実施 郡山市 5 R 推進課 総合窓口、連携先との調整、リユーススポットの運営
- 協力 郡山市資源循環課 常設スポットの場所提供、リユースされずリサイクル不可の物の処分
- グンダスト事業協同組合 . . . リユーススポットの運営補助、リユース品の運搬
- 郡山地区再生資源協同組合 . . リユースされなかった物のうち、リサイクル可能な物をリサイクル

実施方法



5. 事業の成果

分析した内容

■定量的な効果検証

- ・ 来場者数（日ごと、曜日ごと、時間帯ごと）
- ・ 品目（持込、リユース、リサイクル、廃棄）の量
- ・ 取扱品目の傾向と人気の傾向
- ・ 市ウェブサイト、ジモティー出品の閲覧数

■定性的な効果

- ・ アンケートの内容
- ・ リユース意識の状況
- ・ ニーズのあるリユース品の状況

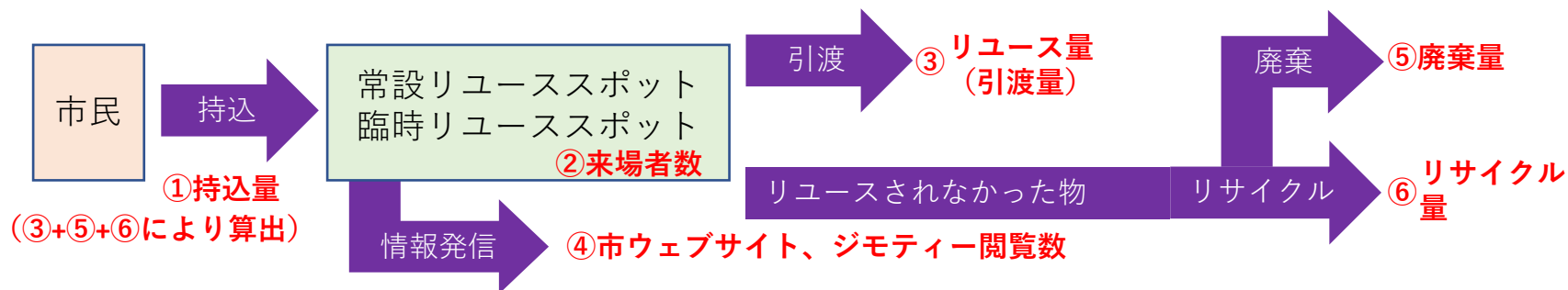
分析期間及び分析方法

■分析期間

別に指定したものを除き、10月3日から12月13日までとした。

■分析方法

定量的な集計は、次の①～⑥から集計した。定性的な集計は、アンケート結果の内容と、事務に従事した職員の聞き取りにより作成した。



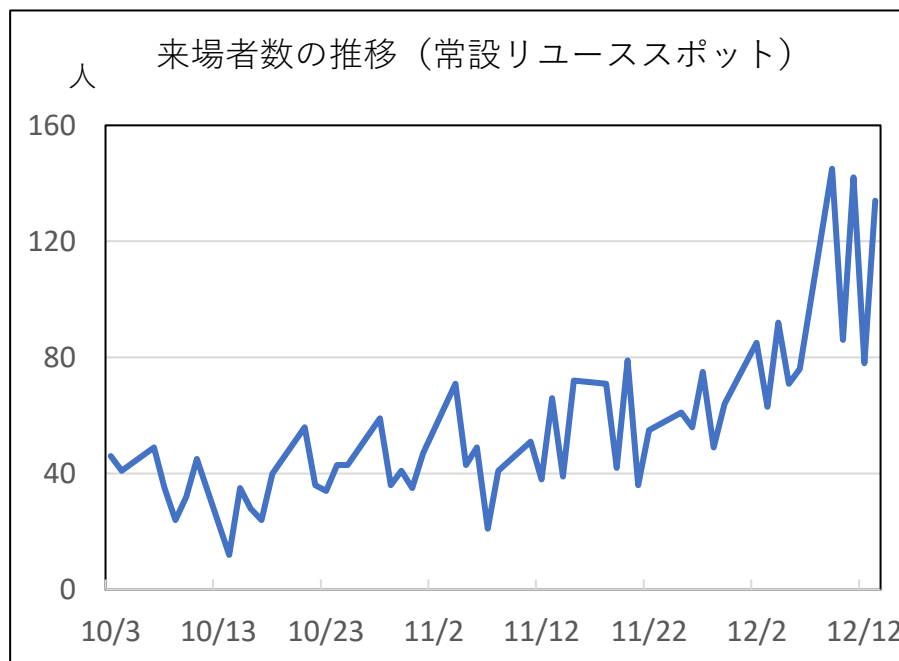
5. 事業の成果

来場者数（日ごと）

常設リユーススポットは、情報が時間とともに市民へ浸透し、来場者数は増加していった。

臨時リユーススポットは、開設場所の周辺人口と来場者数が比例する傾向があった。

	来場者数
常設リユーススポット (開設日数 52日)	2,892人 (55.62人/日)



	来場者数
臨時リユーススポット (開設日数 7日)	1,266人 (180.86人/日)
郡山市役所 (旧郡山・10/5)	138人
西田公民館 (西田町・10/12)	57人
安積総合学習センター (安積町・10/19)	289人
郡山市役所 (旧郡山・11/9)	305人
田村公民館 (田村町・11/16)	253人
喜久田公民館 (喜久田町・11/23)	128人
緑ヶ丘地域公民館 (旧郡山・11/30)	96人

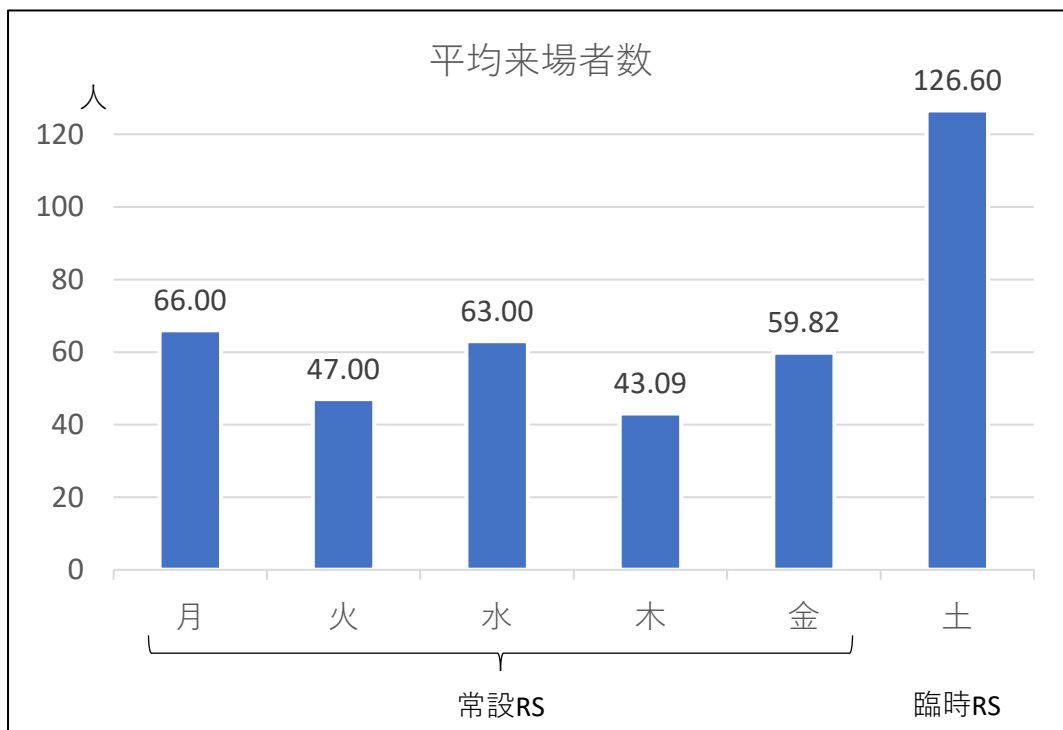
5. 事業の成果

来場者数（曜日ごと）

月曜日から金曜日は常設リユーススポット、土曜日は臨時リユーススポットを開設。

常設リユーススポットは、月曜日から金曜日にかけて少しずつ来場者が減る傾向があり、また、火曜日と木曜日の来場者は少ない傾向にあった。

臨時リユーススポットは、土曜日の開催ということもあり、来場者が多い傾向であった。



RS・・・リユーススポットの略

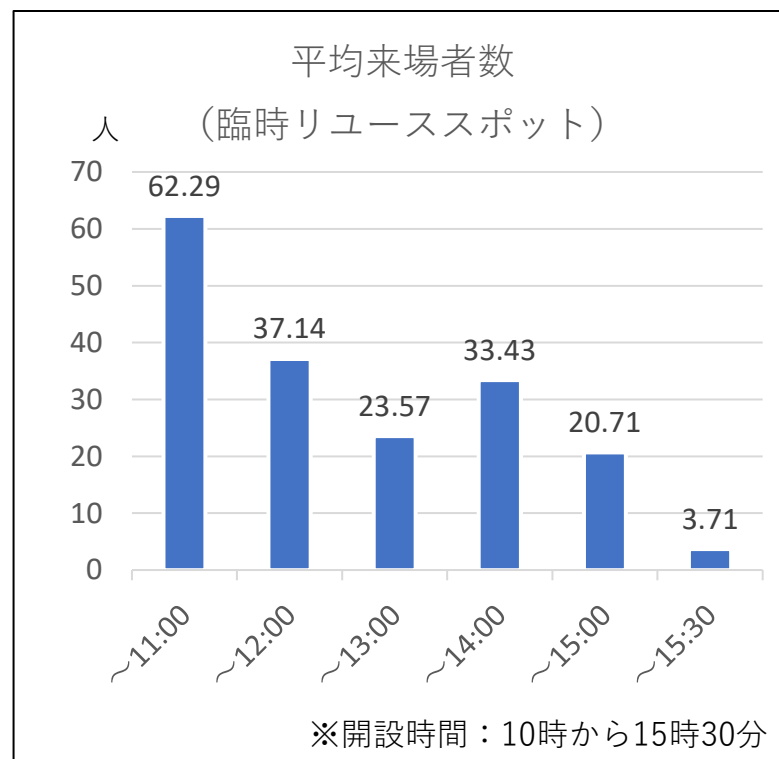
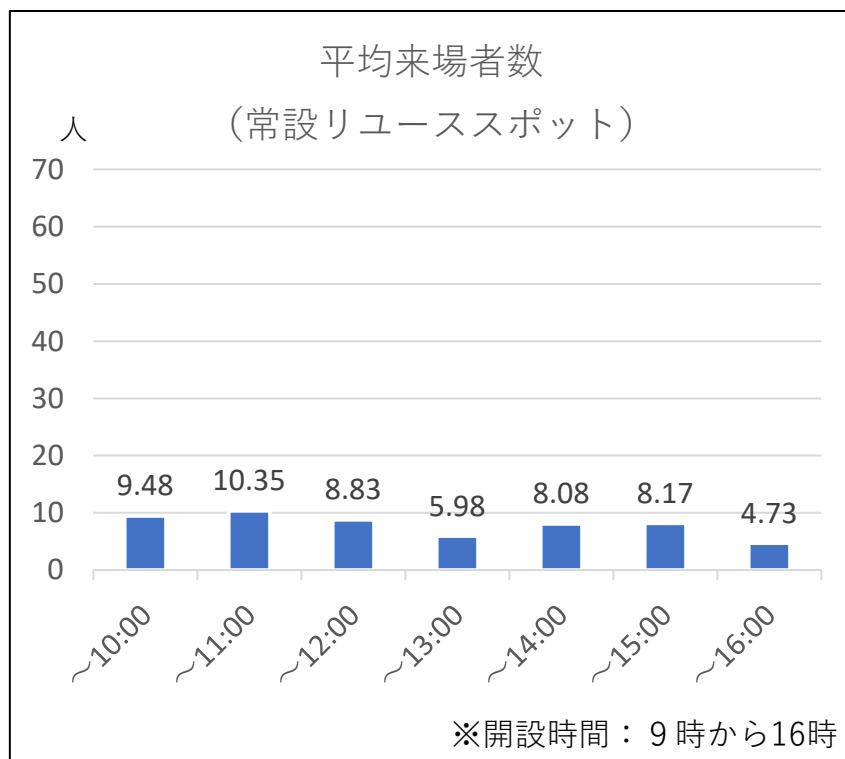


5. 事業の成果

来場者数（時間ごと）

常設リユーススポットは、時間による大きな変化は見られなかったが、正午から13時と、15時から16時は若干少ない傾向が見られた。

臨時リユーススポットの来場者は、開場待ちの行列ができる場所があるなど、開場からの1時間が最も多かった。常設リユーススポット同様、正午から13時は若干少ない傾向が見られた。



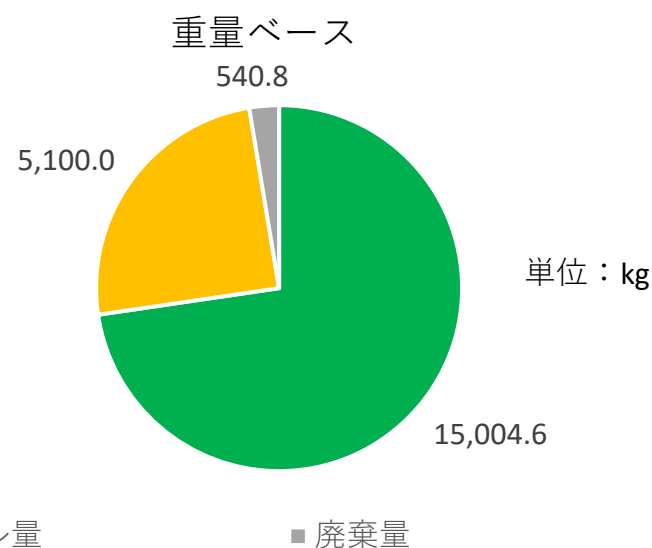
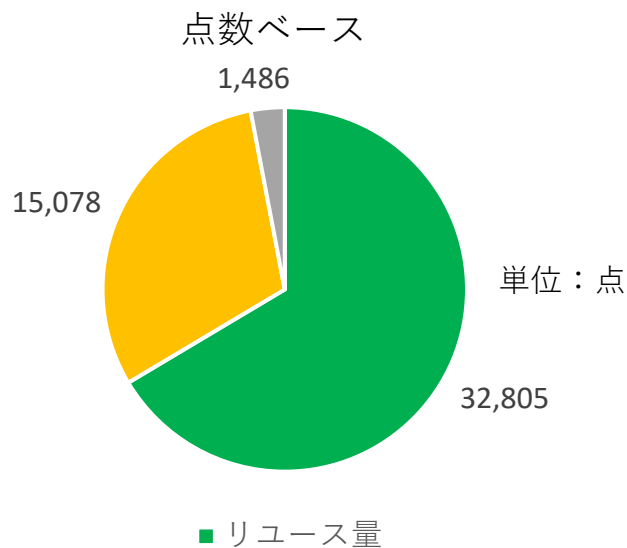
5. 事業の成果

持ち込まれた品物の処分内容

持ち込まれた品物はすぐにリユース品として展示、概ね3週間経過しても引き取られないものは、展示を終了しリサイクル品と廃棄処分物に分別、廃棄処分物はクリーンセンターで廃棄した。

総搬入量 **49,369点** **20,645.4kg**

	リユース量	リサイクル量	廃棄量
点数	32,805点 (66.4%)	15,078点 (30.5%)	1,486点 (3.0%)
重量	15,004.6kg (72.7%)	5,100.0kg (24.7%)	540.8kg (2.6%)



5. 事業の成果

処分内容の詳細

	家具	陶器・ 食器	日用 雑貨	書籍	CD・ DVD	スポー ツ用品	バッグ	衣類	合計	
品目ごとの搬入量	301点	15,837点	9,222点	9,345点	1,153点	222点	778点	12,511点	49,369点	
	3,369.3kg	6,701.1kg	3,281.7kg	2,743.2kg	197.5kg	478.6kg	395.0kg	3,479.0kg	20,645.4kg	
	うち リユース量	298点 (99.0%)	9,756点 (61.6%)	8,275点 (89.7%)	4,598点 (49.2%)	1,075点 (93.2%)	199点 (89.6%)	628点 (80.7%)	7,976点 (63.8%)	32,805点 (平均 66.4%)
		3,335.6kg (99.0%)	4,251.0kg (63.4%)	2,983.2kg (90.9%)	1,373.2kg (50.1%)	178.4kg (90.3%)	369.2kg (77.1%)	328.1kg (83.1%)	2,185.9kg (62.8%)	15,004.6kg (平均 72.7%)
	うち リサイクル量	0点 (0.0%)	5,646点 (35.7%)	0点 (0.0%)	4,747点 (50.8%)	0点 (0.0%)	0点 (0.0%)	150点 (19.3%)	4,535点 (36.2%)	15,078点 (平均 30.5%)
		0.0kg (0.0%)	2,370.0kg (35.4%)	0.0kg (0.0%)	1,370.0kg (49.9%)	0.0kg (0.0%)	0.0kg (0.0%)	66.9kg (16.9%)	1,293.1kg (37.2%)	5,100.0kg (平均 24.7%)
	うち 廃棄量	3点 (1.0%)	435点 (2.7%)	947点 (10.3%)	0点 (0.0%)	78点 (6.8%)	23点 (10.4%)	0点 (0.0%)	0点 (0.0%)	1,486点 (平均 3.0%)
		33.7kg (1.0%)	80.1kg (1.2%)	298.5kg (9.1%)	0.0kg (0.0%)	19.1kg (9.7%)	109.4kg (22.9%)	0.0kg (0.0%)	0.0kg (0.0%)	540.8kg (平均 2.6%)

※品目の具体例について

家具・・・たんす、机、いす等

日用雑貨・・・消耗品、アクセサリ等

CD・DVD・・・CD、DVD、ビデオテープ等

バッグ・・・手提げバック、財布等

陶器・食器・・・茶碗、花瓶、コップ等

書籍・・・雑誌、文庫本、マンガ等

スポーツ用品・・・ゴルフ、スキー用品等

衣類・・・コート、スーツ、子供服等

5. 事業の成果

リユースされた品物の数

○家具の人气が高く、受け入れた家具のほとんどがリユースされた。

○書籍は、古い本や専門書の受入が多かったこともあり、他の品目に比べリユース率が低かった。

○取扱量最多は陶器・食器で、持込量も多かったが、その6割以上がリユースされた。

総リユース量 32,805点 15,004.6kg

	家具	陶器・食器	日用雑貨	書籍	CD・DVD	スポーツ用品	バッグ	衣類	合計
点数	298点	9,756点	8,275点	4,598点	1,075点	199点	628点	7,976点	32,805点
リユース率	99.0%	61.6%	89.7%	49.2%	93.2%	89.6%	80.7%	63.8%	66.4%
重量	3,335.6kg	4,251.0kg	2,983.2kg	1,373.2kg	178.4kg	369.2kg	328.1kg	2,185.9kg	15,004.6kg
リユース率	99.0%	63.4%	90.9%	50.1%	90.3%	77.1%	83.1%	62.8%	72.7%



5. 事業の成果

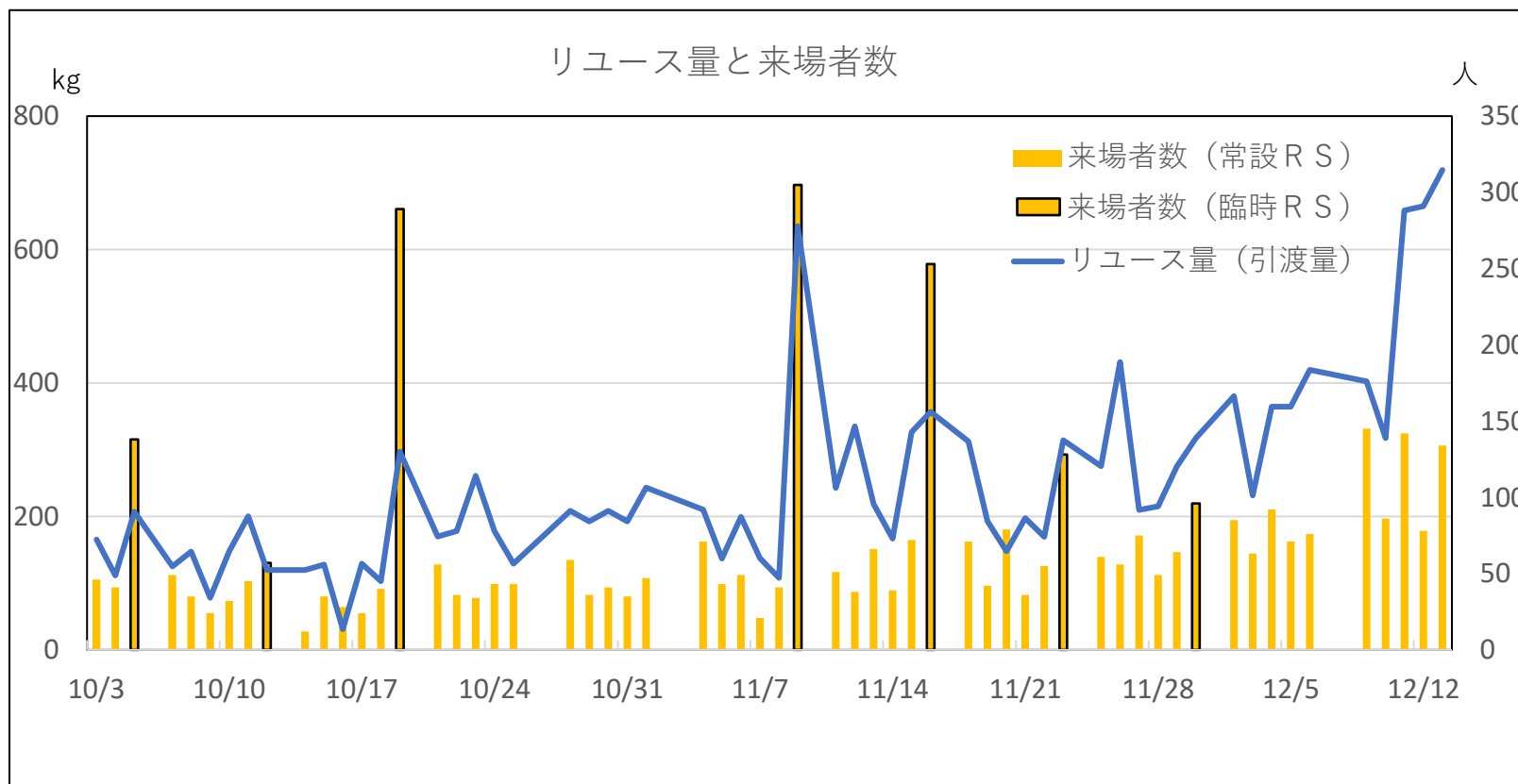
品目別リユースの傾向

	多くがリユースされた物	多くがリユースされず残った物
全般	新品や未使用品	使用感や汚れのある物、臭いの強い物
家具	いす、タンス (家具は全般に人気が高い)	修理の難しい壊れがあるもの、ブラウン管のテレビ台
陶器・食器	化粧箱入りの物、キャラクター物 やブランド物、販促品の食器	文字入りの祝い皿（「祝・〇〇記念」等）、 薄いご飯茶碗、数の揃っていない小皿
日用雑貨	洗剤などの消耗品、タオル	変色したプラスチック製品、賞状等を入れる 額、絵画（好みによる）
書籍	文庫本、マンガ	年代の古いもの、辞書・辞典、資格取得本
C D ・ D V D	—	ビデオテープ
スポーツ 用品	—	スキー用品、ボウリングの球
バッグ	ビジネスバッグ、旅行かばん	ランドセル
衣類	子供服、ブランドものの服、防寒 ジャンパー	スーツセット（上下）

5. 事業の成果

来場者数とリユース量の推移

- 臨時リユーススポットへの来場者が多い傾向にある。
- リユース量は、概ね来場者数に比例して多くなっている。また、リユーススポットの認知度が高まってきた期間後半のリユース量が増えている。

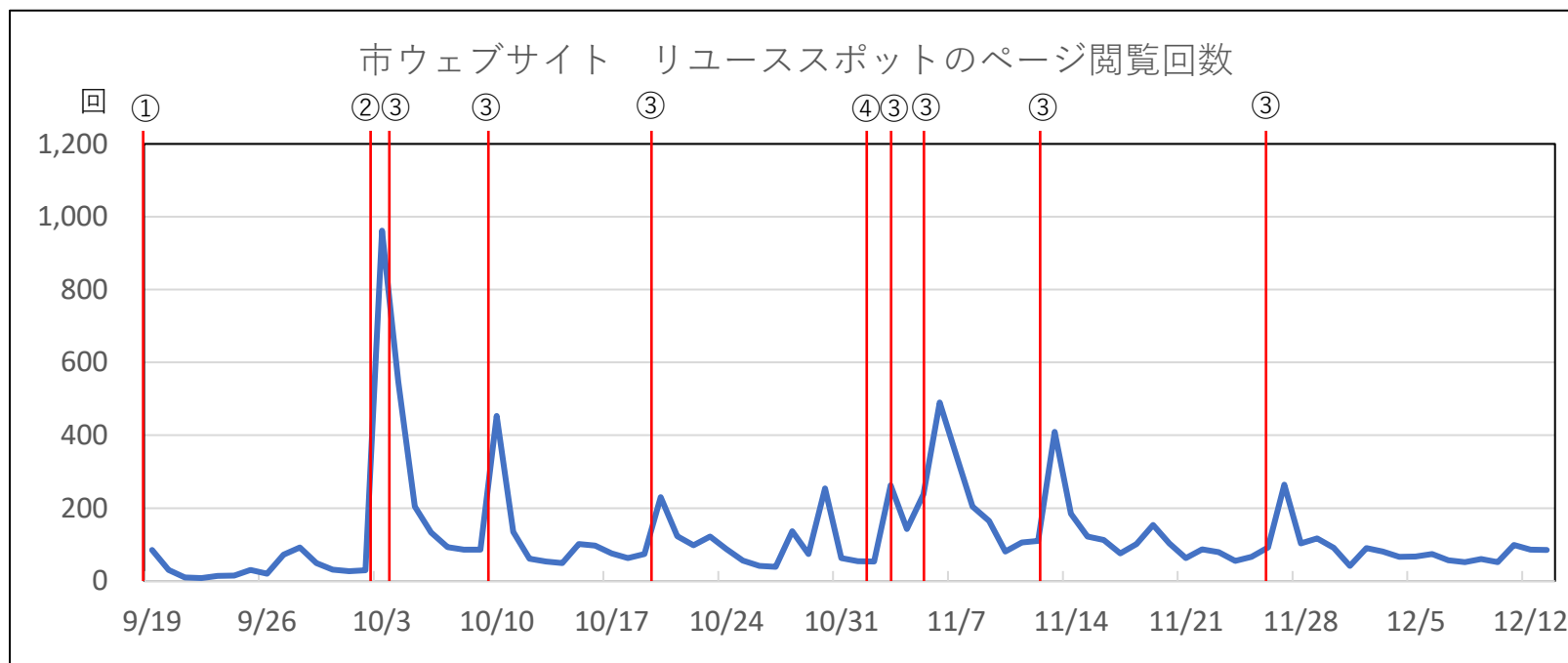


5. 事業の成果

市ウェブサイト閲覧数

リユーススポット開設初日となる10月3日に新聞折込を、その後も市SNS等を通じリユーススポットの情報を発信してきた。

最も閲覧数が増えたのは新聞折込時で、QRコード入り折込チラシからの誘導と思われる。

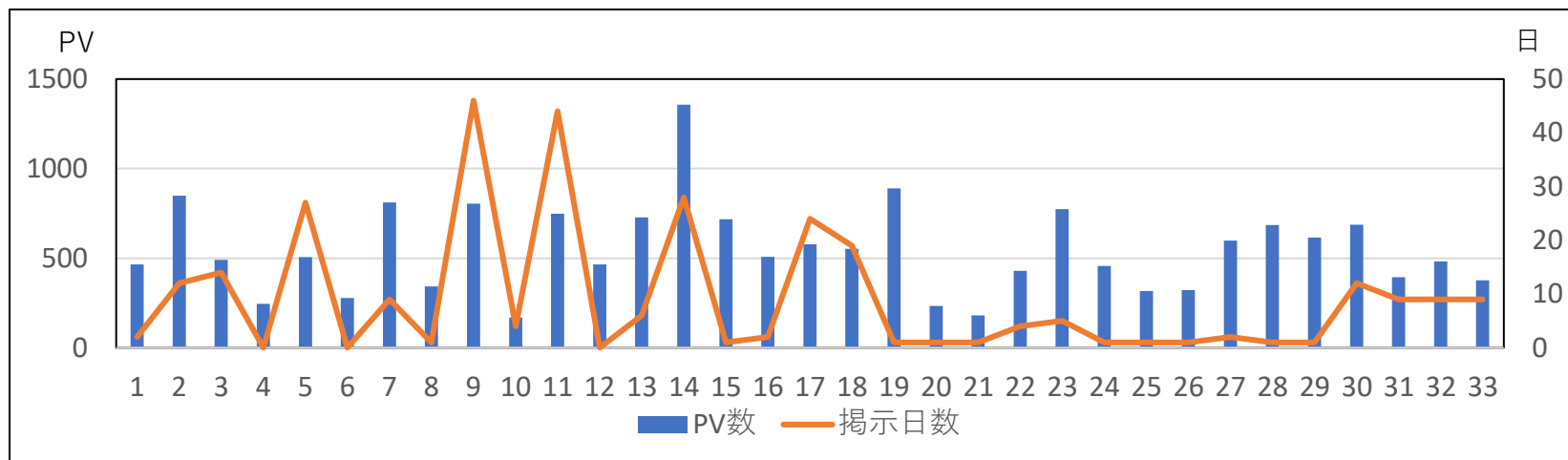


- ①・・・市ウェブサイト開設 (9/19)
- ②・・・リユーススポットチラシの新聞折込、市SNSを通じた情報発信 (10/3)
- ③・・・市SNSを通じた情報発信 (10/4、10/10、10/20、11/3、11/6、11/13、11/27)
- ④・・・報道機関投げ込み (11/1)

5. 事業の成果

ジモティーPV数

ジモティー郡山市公式ページを作成し、大型家具を掲載した。フォロワー数は開設から約3か月で203人となり、期間の後半は、掲載後短期間で引き取られることが多くなっている。



1	ダンス	8	テレビ台	15	テレビ台	22	イス	29	ダンス
2	ローテーブル	9	サイドボード	16	テーブル	23	鏡台	30	テーブル
3	机	10	テーブル	17	ダンス	24	ミシン台	31	鏡台
4	ダンス	11	ダンス	18	ダンス	25	サマーベッド	32	テレビボード
5	額	12	ソファ	19	卓球台	26	テーブル	33	鏡台
6	机	13	学習机	20	テーブル	27	机		
7	ダンス	14	ガラステーブル	21	テーブル	28	折り畳みベッド		

(補足：上段のグラフの読み方の例) ダンスは、計7品 (No.1、4、7、11、17、18、29) が公式ホームページに掲載され、No.1や4のダンスはすぐに引き取り手が見つかったが、相対的にNo.11のダンスは引き取り手が見つからず、掲載日数が長かった。

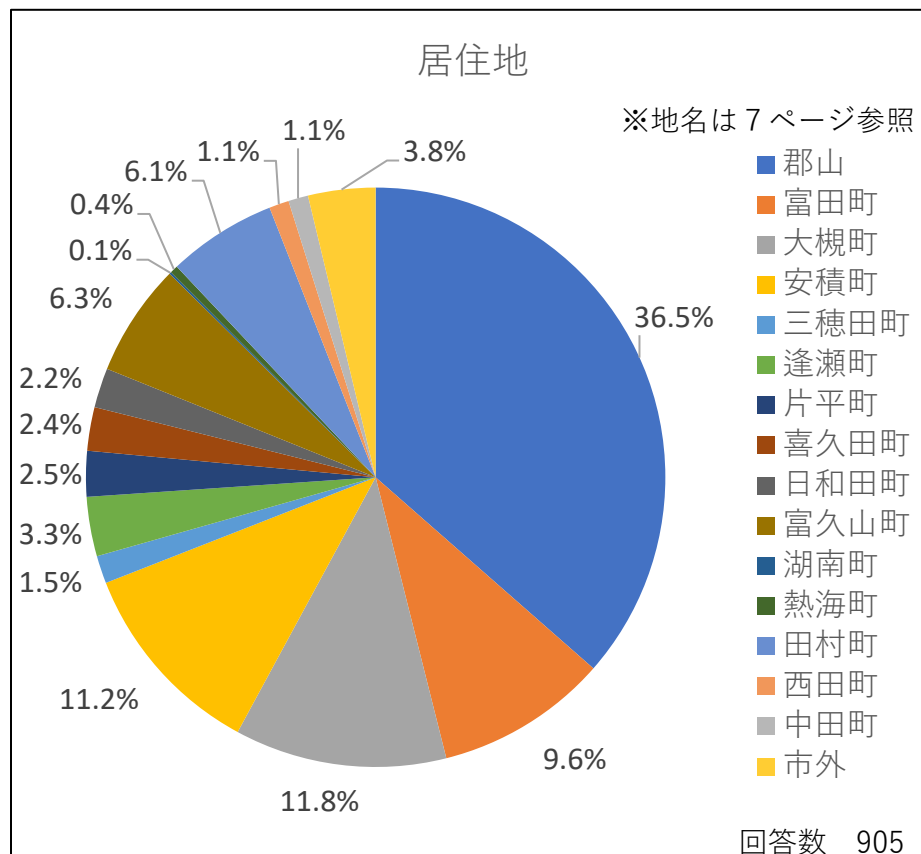
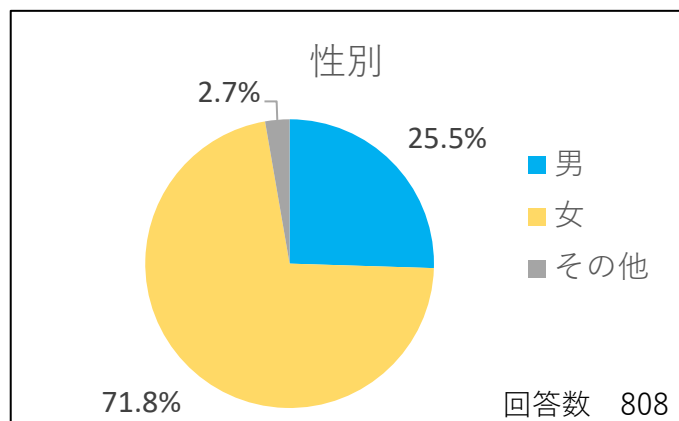
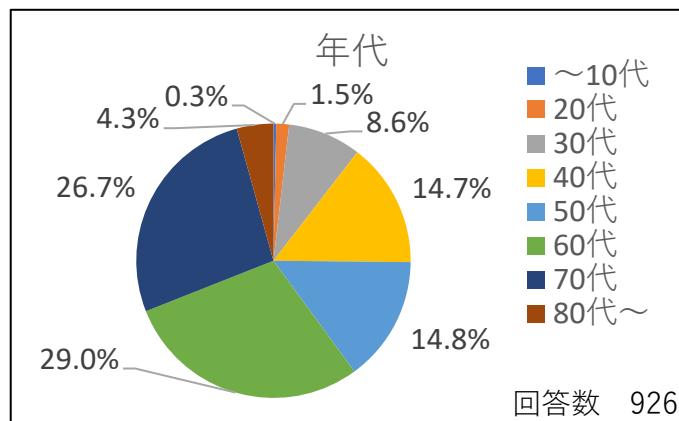
5. 事業の成果

アンケート結果（会場アンケート、ネットアンケート）

会場アンケートに834件、ネットアンケートに96件の回答があった。なお、本ページ以降のパーセント表記のものは、端数処理をしているため、合計しても100%にならないことがある。

■来場者について

60代から70代の女性が多く利用しており、人口が多い郡山からの来場者が多かった。



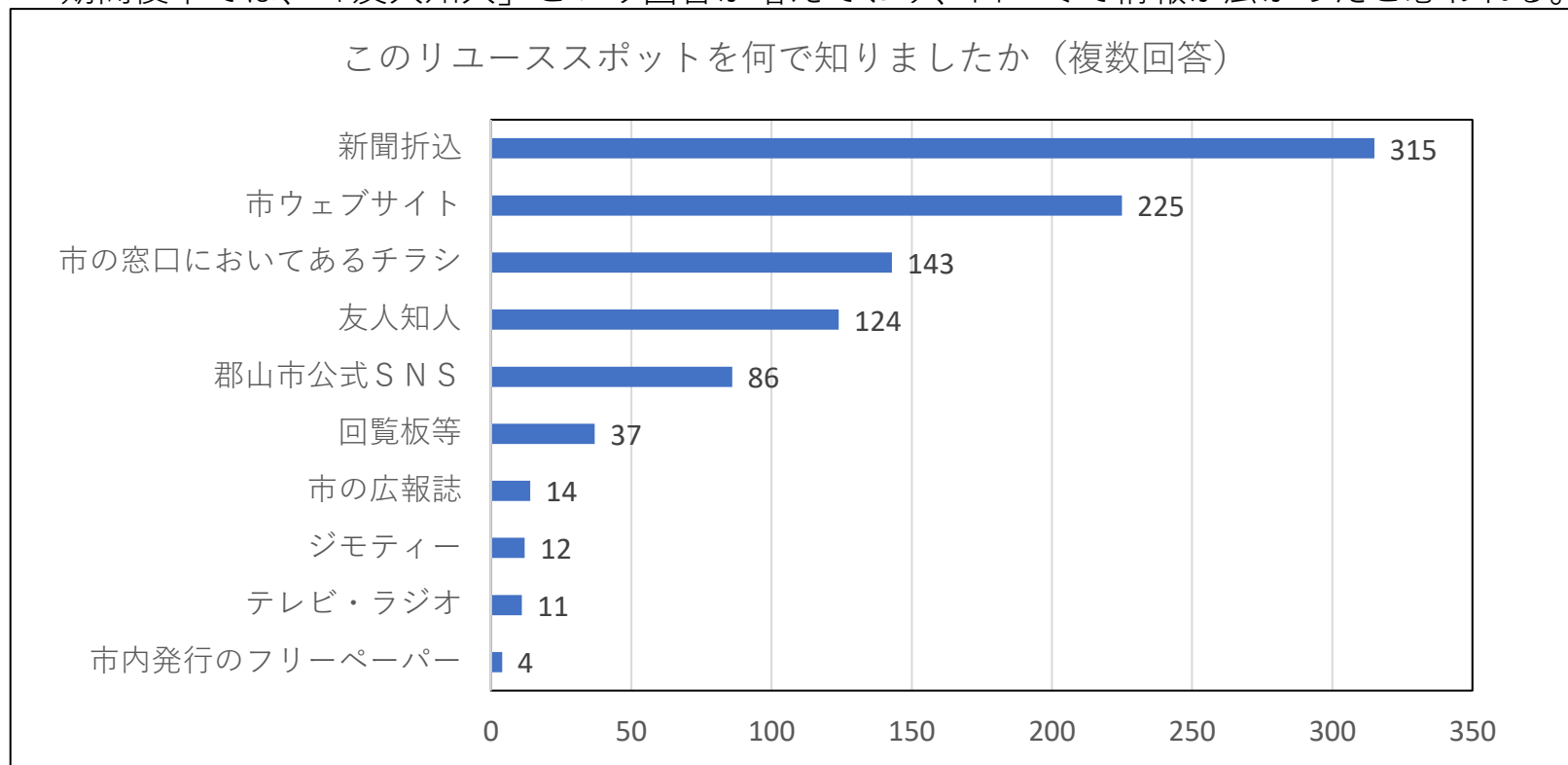
5. 事業の成果

アンケート結果（会場アンケート、ネットアンケート）

■リユーススポットの情報を何で知ったか

新聞折込が最も多かった。新聞折込は開設初日となる10月3日に1回のみの実施だったが、期間後半のアンケートでも「新聞折込」と回答した来場者があり、効果があったと考えられる。

期間後半では、「友人知人」という回答が増えており、口コミで情報が広がったと思われる。

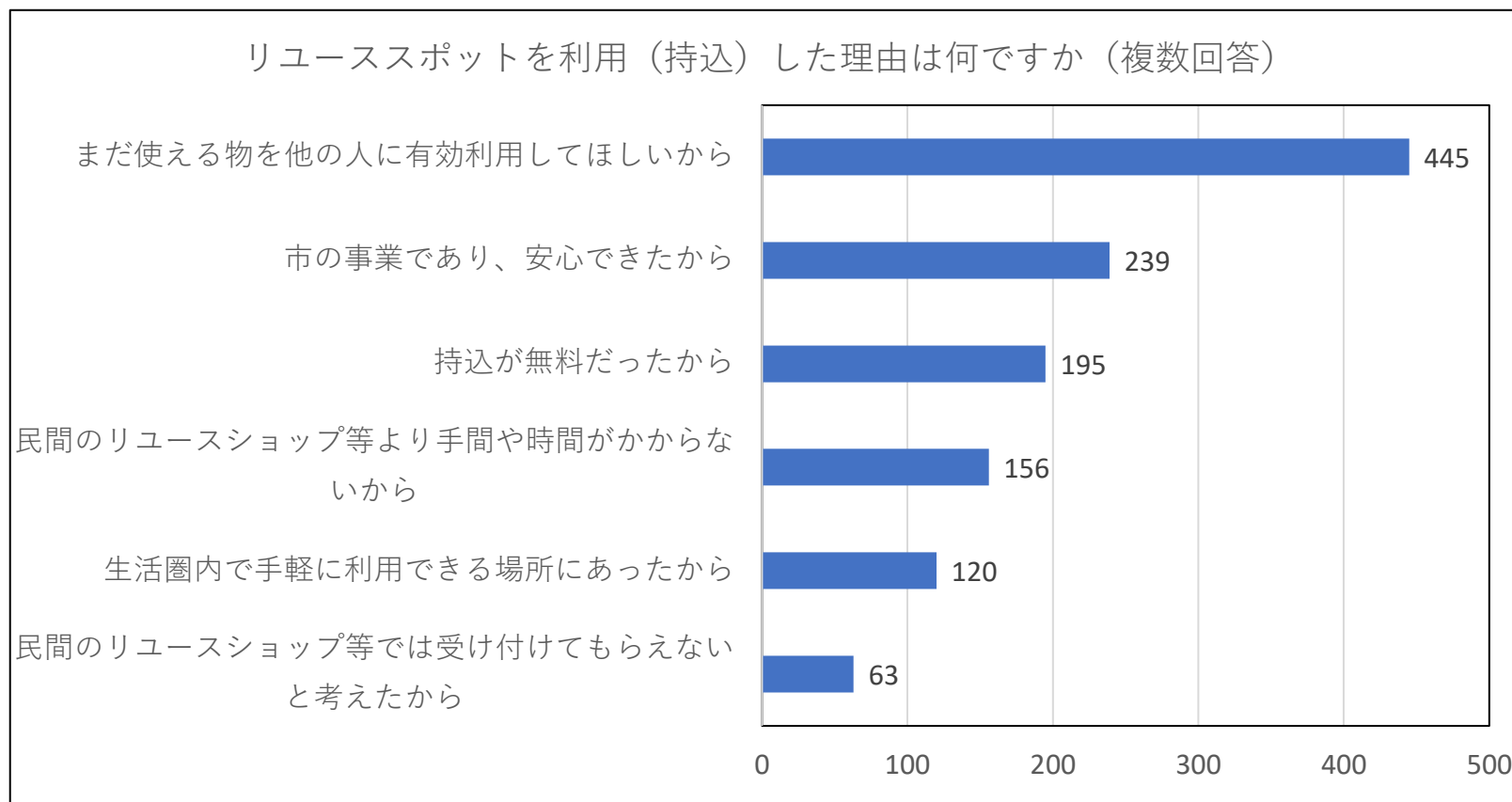


5. 事業の成果

アンケート結果（会場アンケート）

■（持込者対象）リユース品を持ち込んだ理由

「捨てるにはもったいない」と考えての持ち込みが最も多かった。自由回答欄にも、「持ち込んだ物を持っていく人を見て嬉しくなった」との回答があった。

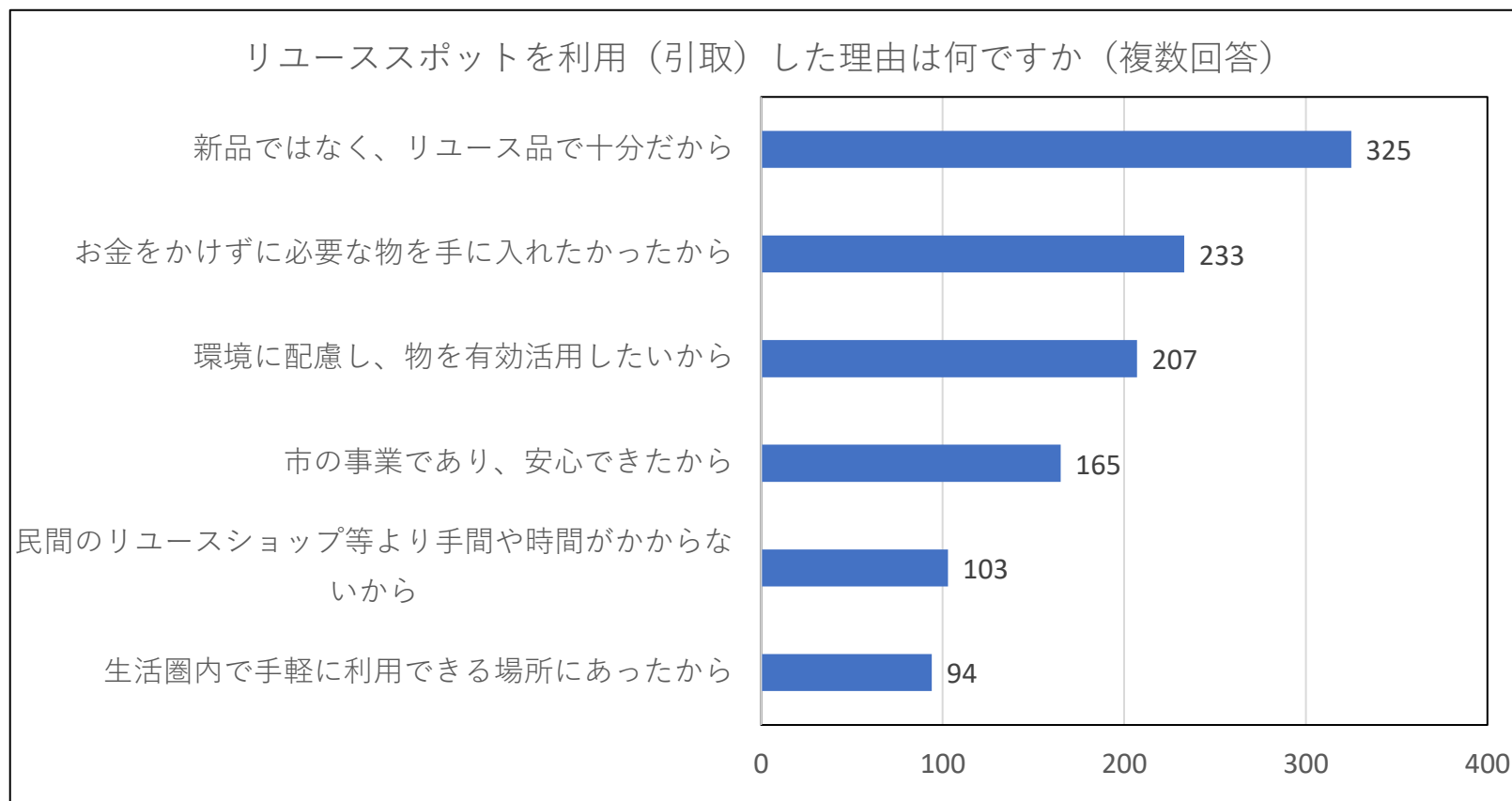


5. 事業の成果

アンケート結果（会場アンケート）

■（引取者対象）リユース品を引取した理由

「新品でなくてもいい」「お金をかけない」などの理由が上位を占めたが、「環境に配慮した」との意見も多かった。



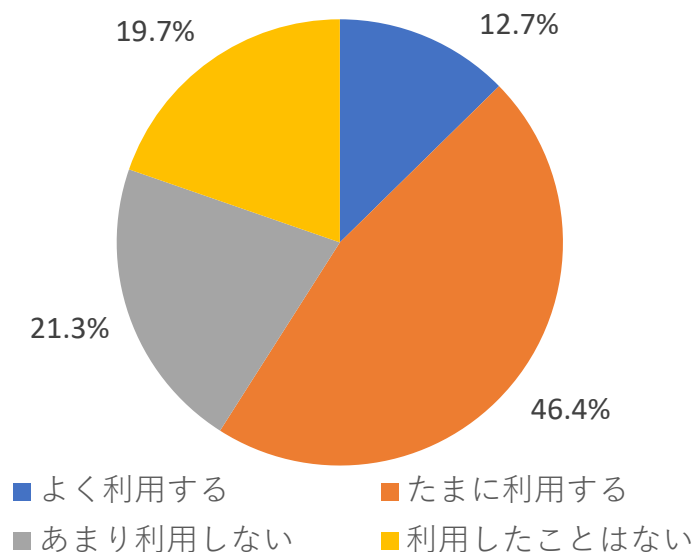
5. 事業の成果

アンケート結果（会場アンケート、ネットアンケート）

■民間リユースショップの利用状況（全体の傾向）

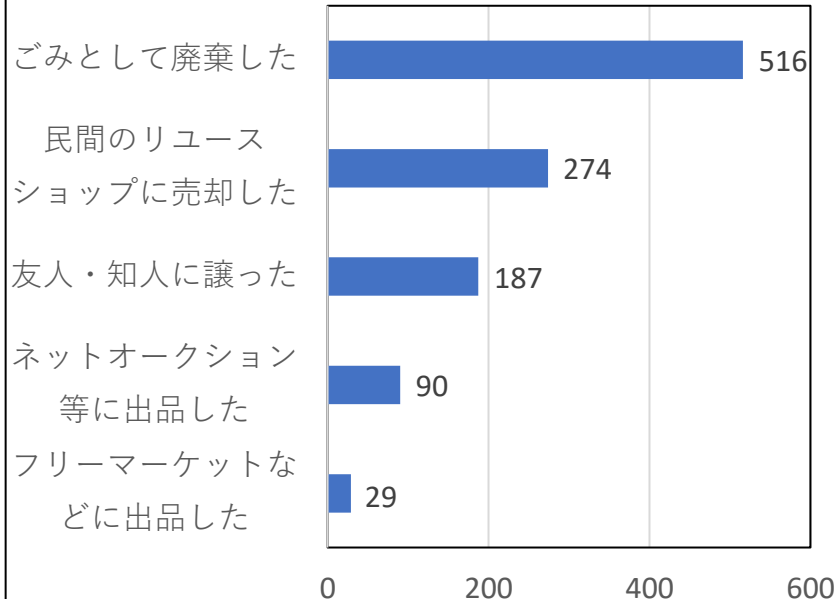
民間のリユースショップ等を「よく利用する」「たまに利用する」人が全体の6割近くを占めたが、まだ使用できる不要品が生じた際の行動として、多くの人が「ごみとして廃棄した」と回答した。

民間のリユースショップ等でリユース品の
購入・売却をすることがありますか



回答数 909

過去1年間の中で、まだ使用できるが不要な物
が生じた時、どのようにしましたか(複数回答)

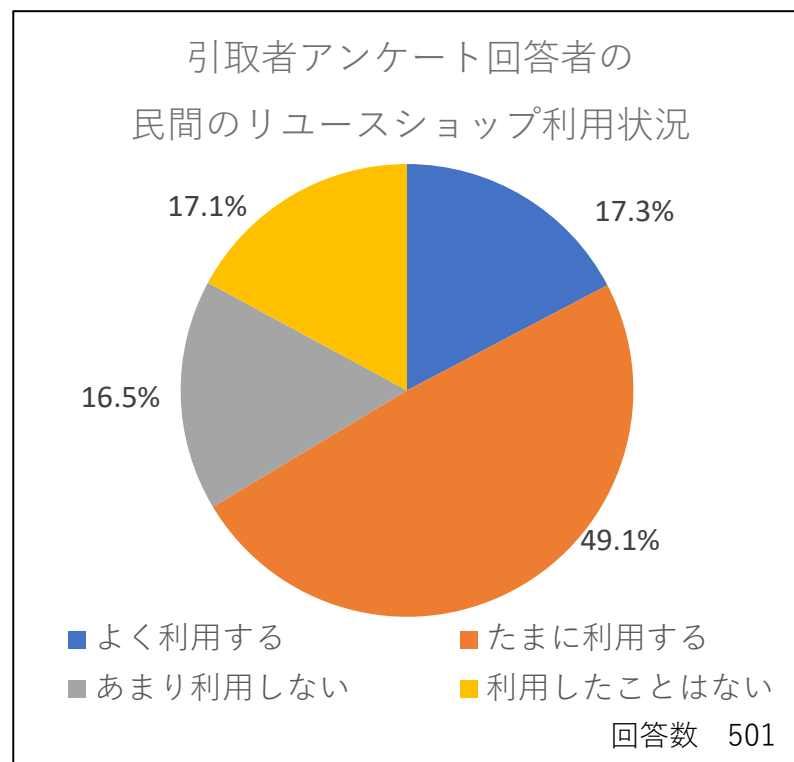
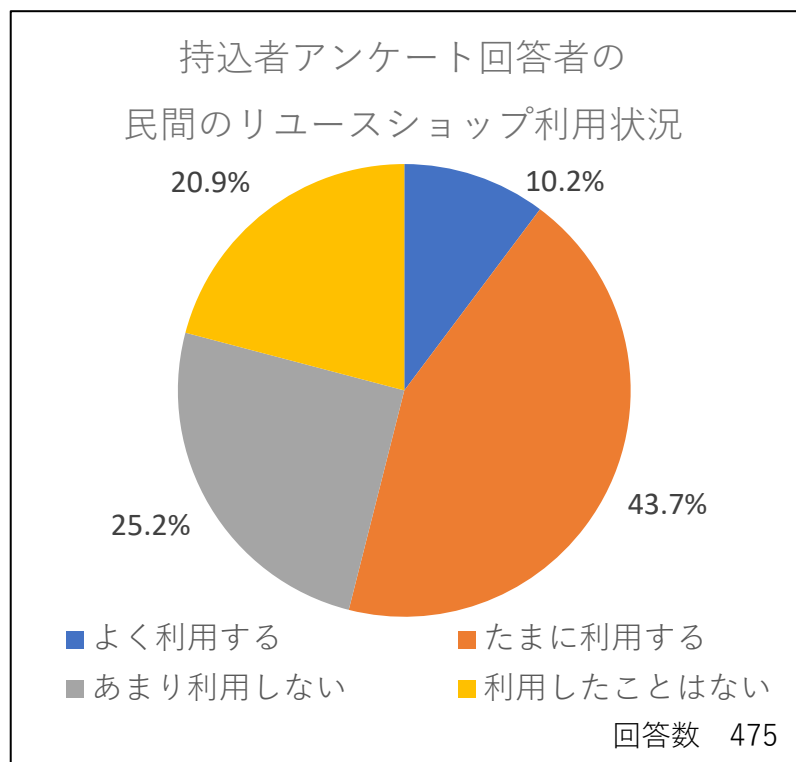


5. 事業の成果

アンケート結果（会場アンケート、ネットアンケート）

■民間リユースショップの利用状況（持込者、引取者別）

持込者のうち、民間のリユースショップ等を「よく利用する」「たまに利用する」人は53.9%なのに対し、引取者の「よく利用する」「たまに利用する」人は66.4%となっており、引取需要の方が多いと考えられる。



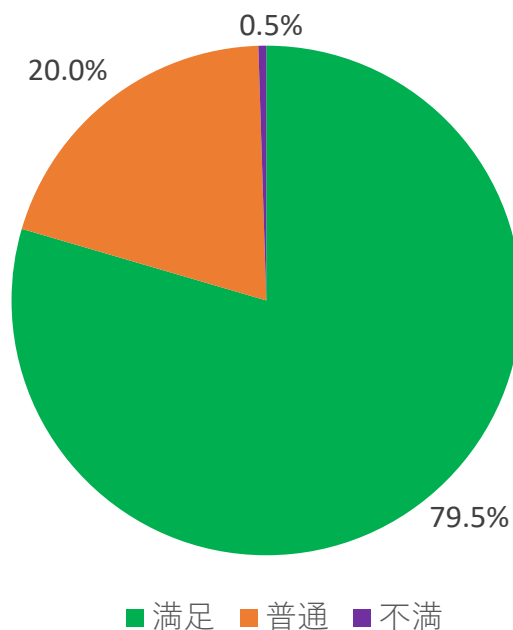
5. 事業の成果

アンケート結果（会場アンケート、ネットアンケート）

■本事業の支持状況

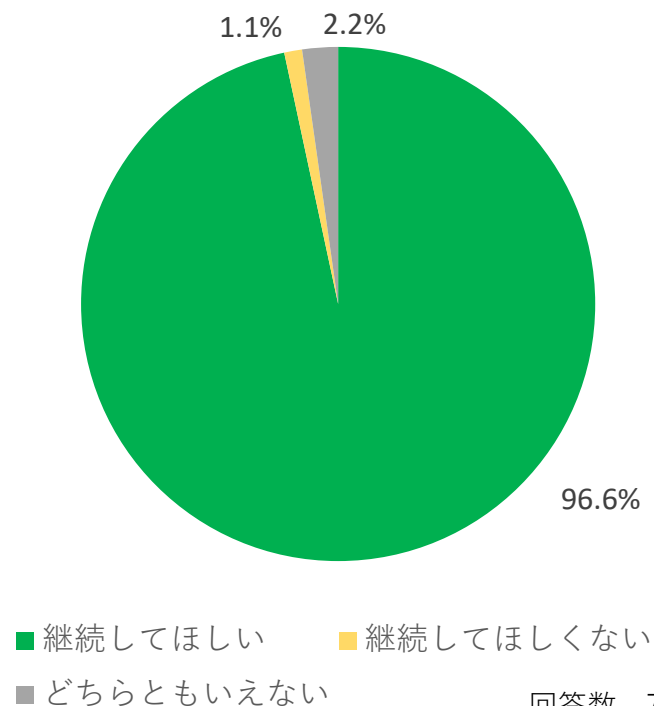
本事業に対し、8割近くが「満足」し、大多数が事業を「継続してほしい」と回答していることから、非常に満足度の高い事業であったと言える。

利用者のリユーススポットの感想
（会場アンケートのみ）



回答数 608

今後の事業継続を望みますか



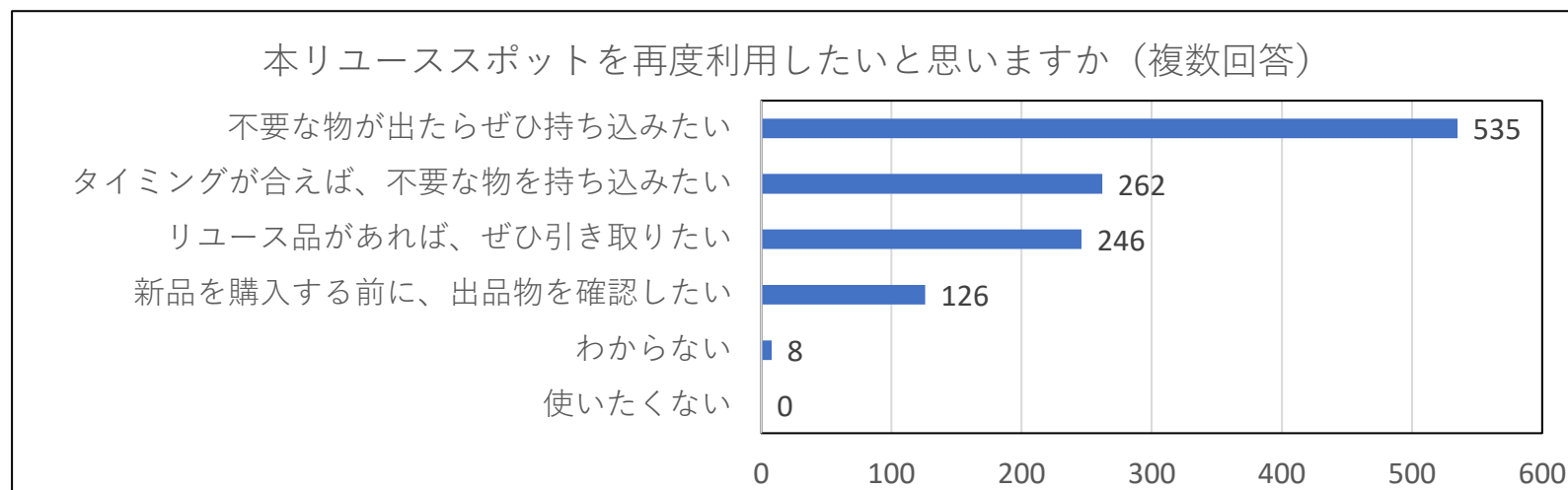
回答数 713

5. 事業の成果

アンケート結果（会場アンケート、ネットアンケート）

■本事業を再度利用したいか

持ち込みのニーズが高かった。



■自由回答欄に書かれた意見

自由記載欄には262件の記載があり、その多くは感謝の言葉だった。それ以外の具体的な要望が挙げられていたものうち、多かった意見は次のとおりであった。

意見の内容	件数
定期的な開催、再度の開催を希望	46件
会場の広さや展示方法の改善	15件
開催場所（会場が遠い、街中で開催）	14件

意見の内容	件数
土日の開催希望	10件
広報の方法について（回数、手段）	8件
子供用品の取扱希望	6件

5. 事業の成果

データからの考察

■開催場所と開催曜日

○来場者が多かった場所と曜日

人口が多い場所で開催した際の来場者数が多い傾向にあった。また、土曜日の来場者数の方が高い傾向にあった。

○来場者が増えやすい日程

市街地で休日に実施することで、来場者を増やすことができると思われる。

		地区	来場者数
常設	河内クリーンセンター (10/3～12/13の月曜～金曜)	逢瀬町	55.62人／日
臨時	郡山市役所 (10/5土曜)	郡山	138人
	西田公民館 (10/12土曜)	西田町	57人
	安積総合学習センター (10/19土曜)	安積町	289人
	郡山市役所 (11/9土曜)	郡山	305人
	田村公民館 (11/16土曜)	田村町	253人
	喜久田公民館 (11/23土曜)	喜久田町	128人
	緑ヶ丘地域公民館 (11/30土曜)	郡山	96人

開催場所と来場者数

地域	人口	世帯数
郡山	121,855	58,744
富田町	26,291	11,937
大槻町	30,454	12,913
安積町	34,639	15,696
三穂田町	3,674	1,232
逢瀬町	3,463	1,238
片平町	5,924	2,061
喜久田町	12,076	4,681
日和田町	10,331	4,167
富久山町	37,682	17,739
湖南町	2,448	1,044
熱海町	4,906	1,716
田村町	17,431	8,061
西田町	3,937	1,400
中田町	3,783	1,404

数値は令和6年12月1日現在

郡山市内の人口と世帯数

5. 事業の成果

データからの考察

■本リユーススポット事業のメリット

○効果が数字で現れるごみ減量政策

企画時のリユース率は50%程度を見込んでいたが、リユース率は70%を超え（重量ベース）、2か月半の事業で15トンがごみとならずに再利用された（P21参照）。ごみ排出量が多く様々なごみ減量政策を模索する本市にとっては、ごみ減量化に効果的な事業であった。

○市民のリユース意識向上に寄与

民間のリユースショップを利用する人は多いが、自分の手元にあるリユース品はごみとして廃棄する人が多い（P30 参照）。一方で、本リユーススポットへの持込理由として「市の事業だから」と回答する人が多く（P28参照）、民間のリユースショップへの持ち込みにハードルを感じていることがうかがえた。本事業へ気軽にリユース品を持ち込むことで、民間のリユースショップへの持ち込みのハードルを下げるができたと考えている。

■難しかった点

持ち込む物は、リユースしてくれる人のことを考え最低限の清潔さが求められるところだが、「洗えば使える」「掃除すれば使える」という感覚で、清潔とは言えない物が持ち込まれる例があった。また、傷みがありリユースが難しそうだった物がリユースされた例もあった。今後、さらに多くの事例を調査していく必要がある。

6. 今後の検討課題

検討課題

■展示会場の広さ・配置

○展示会場の広さの検討

来場者は、長い人で1時間以上滞在するため、会場が混雑することがあった。

○持込品受取場所の検討

持ち込まれたリユース品を早く見ようと、多数の来場者が持込場所に集まることがあった。業務の支障となることもあったので、持込場所を別にするなどの検討が必要である。



■リユース品とその他の物の区別

机や床の上に置いた来場者の荷物を、他の来場者がリユース品と勘違いしたことがあった。来場者に対し、自分の荷物は手から離さないようアナウンスした。

また、会場においてある市の物品をリユース品と勘違いした来場者がいた。市の物品はリユース品ではないことが分かるよう、名前の入ったシールを貼るなどして対応した。

リユース品以外の物が誤って持っていかれることが無いよう、工夫が必要である。

6. 今後の検討課題

検討課題

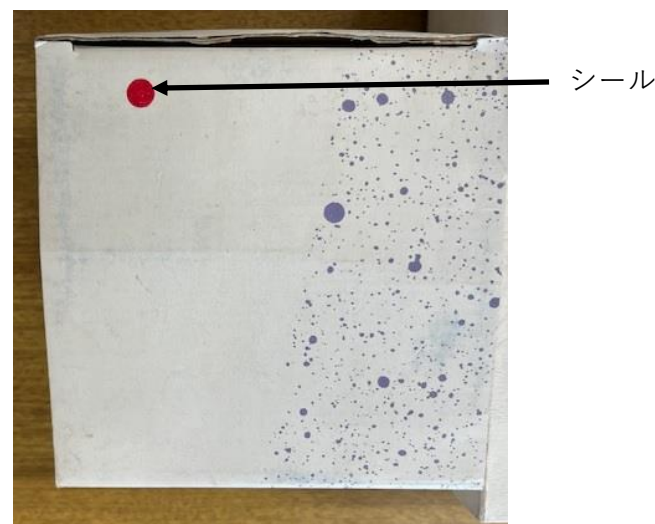
■持ち込む物についての注意点の周知

リユース品として持ち込まれた物には、汚れや破損が目立つ物や、組み立て品のパーツがバラバラの状態の物など、受け入れるべきか判断に悩むこともあった。リユーススポットが単なる不要品排出場所とならないよう、今回の知見をさらに検討し、持込の際の細かい基準を作成して公表する必要がある。

また、リユース品を受け取る人の気持ちを考えて持ち込んでもらえるよう、啓発する必要がある。

■リユース品の入荷時期の管理方法

全ての品物に入荷週を見分けるシールを貼り、その色で物品を管理する予定だったが、搬入される品数が多いことや、衣類などシールが貼れない性状のものがあるなどの理由で、全ての品物に貼ることができなかった。リユース品の性状に合わせた管理方法について検討する必要がある。



6. 今後の検討課題

検討課題

■担当者の労務体制

3名いる担当者のうち、2名以上が必ず会場に残るよう休憩時間を調整したが、大量の持ち込み、持ち出しの際は2人で対応しきれないことがあった。

また、持ち込みが大量にあると、整理が間に合わず、持込品をしばらく放置することがあったが、その放置したものに来場者が集まり、その場で散らかることもあった。

開設時間を午前と午後に分けるなどして来場者を入れない時間を作り、休憩と荷物整理の時間を確保することで、よりスムーズな運営が可能になるものと思われる。

■事業に要する費用

本実証事業に当たって要した費用は3,685千円で、内訳は下表のとおり。費用の全額を環境省による助成で賄った。

外注費のうち、運営補助業務委託に要した費用が3,036千円であった。消耗品費は、重量計測用のはかりなどの購入に使用したが、多くは市役所内部で不要となっている物（のぼりの旗竿、会場掲示用の板など）や、持ち込まれたリユース品で対応できた。

人員が少ない本市では事業実施に委託が不可欠だが、実績の無い事業に数百万円の予算を要求しても認められにくい。今回の実績を基にし、事業展開を検討していく必要がある。

消耗品費	102千円	外注費	3,329千円	印刷製本費	255千円
------	-------	-----	---------	-------	-------

7. 事業終了後の展開

今後の事業継続に向けて

■令和7年度の事業実施に向けて調整中

- アンケート調査が示すニーズ

 - 「事業継続を希望する」割合は96.6%

- 2か月半で15トンのリユース

 - 年間換算で90トンの家庭ごみ減量効果、リユース率は全体で72.7%（重量ベース）

- 後半にかけて来場者数が増加

 - 本事業が浸透し、来場者は右肩上がりに増えていった。継続して実施することで、さらなるリユースの推進と生活系ごみの減量につながる

■目利きマニュアルの作成

- リユース需要による区別

 - 品目ごとに分け、作成する

- 状態による区別

 - 汚れっぽいものは需要が無いなど、実際にあった事例を基に作成する

7. 事業終了後の展開

今後の事業継続に向けて

■継続して事業を進めていくために必要なこと

○財源の確保

現在の方法では、事業の実施に多額の費用がかかる。なるべく費用をかけずに効果を上げるため、引渡を有料にするなど、多角的な視点から検討を進める必要がある。

○会場運営方法のマニュアル化

会場に関する要件（広い展示会場、来場者駐車場の確保など）、取扱品目、受取基準など、運営に関する事項を全てマニュアル化し、スムーズな運営ができるようにする。

○広報の強化

アンケートの自由記載欄に「広報をしっかりしてほしい」などの書き込みがあった。様々なツールを活用して広報することで、利用率を上げることができる。

○ニーズの把握

本実証実験では衣類のリユースの知見も多く得られたが、子供服のリユースを子供連れが多い施設にするなどして、よりリユース率を上げていく検討をしていく。

8. 横展開へのポイント

周辺自治体への展開

■県内他自治体への情報提供

福島県は、令和4年度の1人1日当たりごみ排出量が全国47都道府県で最も多く、ごみの減量は、本市のみならず福島県全体の課題である。

こおりやま広域圏（本市及び周辺16市町村との連携中枢都市圏）や、本市と同規模の自治体（圏内にある中核市等）へ実証実験の結果を提供し、発生するリユース品の有効利用につなげることができれば、福島県全体のごみ減量につなげることができる。

こおりやま広域圏
マップ



民間事業者への展開

■民間事業者への情報提供

本事業のリユース品取扱状況の情報を、市内民間事業者と共有する。市民の需要と供給の状況を正確に把握することで、リユースショップ側の受入体制の拡充を啓発するなどして、市民の一層のリユース促進につなげていく。また、事業系由来のリユース品受入についても働きかけ、本市の排出量が多い事業系廃棄物の減量につなげる。

8. 横展開へのポイント

（参考）本市の企画から実施までの流れ

令和6年度のゼロ予算実証事業として実施する計画のところ、環境省実証事業の採択を受け費用助成を受けたことから、事業規模を大きくして実施、様々なデータを収集することができた。

		実施内容	
令和4年度	5月	○世田谷区不要品持ち込みスポット（喜多見）視察 ○八王子市粗大ごみリユース事業について聞き取り	先進地視察
令和5年度	7月	○世田谷区不要品持ち込みスポット（エコプラザ用賀）視察	
	8月～	○郡山市版リユーススポットの企画立案	企画
令和6年度	4月	○環境省「使用済製品等のリユースに関する自治体モデル実証事業」応募 ○実施会場の検討	
	6月	○環境省実証事業採択	準備
	7月	○関係当局との調整	
	8月	○事業実施期間、実施会場、実施方法の決定	
	9月	○物品購入、チラシ印刷発注、リユーススポット運営業務補助委託締結	
	10月～ 12月	○リユーススポット開場、月ごとのデータ収集	実施
	12月	○事業終了、報告書作成	事業完了